



Mapping for System i 導入および利用ガイド 基本編

第 1.6.2 版

2010/11/05

インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン株式会社



< 目 次 >

第	1章	- Maj	pping を System i にインストールする	4
1.		最初	الح	4
2.		前提	条件	4
3		壬順		٨
0.		丁順		t
4.		197		
5.		ライセ	2ンス・キー導入	10
	5-1	無	制限またはオンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーを入力する	10
	5-2	才	ンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーにページ・リフィル・キーを入力する	11
6.		導入	後の作業	12
第	2 章	: – Ma	pDraw を PC にインストールする	14
1.		最初		
2		前坦	~ 冬此	14
2.				
3.		于順		14
4.		インス	パトール	15
5 .		導入	後の作業	20
6.		Syst	em i への接続の設定	20
第	3章	: – Ma	pDraw を利用して帳票設計する	
1		星初		
1		HX 17J	1	
~		- T 10 E		00
2.		手順		23
2. 3.		手順 マッピ	ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 23
2. 3. 4.		手順 マッピ Map[ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計	23 23 25
2. 3. 4.	4-1	手順 マッピ Map[Ma	<mark>ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする</mark> Draw による Mapping フォーマットの設計 	23 23 25 25
2. 3. 4.	4-1 4-2	手順 マッピ Map[Ma 【記	ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト	23 23 25 25 29
2. 3. 4.	4-1 4-2 4-	手順 マッピ Map[M. 【 : -2-1	プン グするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ	
2. 3. 4.	4-1 4-2 4- 4-	手順 マッピ Map[Map[-2-1 -2-2	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ	
2. 3. 4.	4-1 4-2 4- 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3	²ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング	
2. 3. 4.	4-1 4-2 4- 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2)	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グループの作成	
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3)	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3)	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 25 25 29 29 31 31 31 32 35 36
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4- 4-3 4-3	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) 【語 -3-1	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 25 25 25 29 29 29 31 31 31 32 35 36 36 36
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4- 4-3 4-3 4-3 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) -3-1 -3-2	なングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 25 25 29 29 31 31 31 35 36 36 36 37
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4- 4-3 4-3 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1)	Cングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グループの作成 ソーンの作成 ジレビュー 設計例2】テルジャパン請求明細書 プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 4 つの長方形と表の作成	23 25 25 25 29 29 31 31 31 31 32 36 36 37 37
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4- 4-3 4- 4-	手順 マッピ MapE -2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (計 -3-1 -3-2 1) 2)	Cングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グループの作成 ソーンの作成 ジレビュー 設計例2】テルジャパン請求明細書 プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 メーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成 オーバーレイの作成	23 25 25 29 29 31 31 31 32 35 36 36 37 37 37
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4- 4-3 4- 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (言 -3-1 -3-2 1) 2) 3)	ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グループの作成 ソーンの作成 ジレビュー 設計例2】テルジャパン請求明細書 プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 4 つの長方形と表の作成 オブジェクト(長方形)のコピー オブジェクトの位置合わせ	23 25 25 29 29 29 31 31 31 31 31 35 36 36 37 38 38 38
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ Map[-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-2 1) 2) 3) 4)	²ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1】受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グループの作成 ソーンの作成 ジレビュー 設計例2】テルジャパン請求明細書 プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 4 つの長方形と表の作成 オブジェクトの位置合わせ 表の作成	23 25 25 29 29 31 31 31 31 35 36 36 36 37 38 39 39 40
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ MapE M: [=-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (= -3-1 -3-2 1) 2) 3) 4) 5)	?ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計	23 25 25 25 29 29 31 31 31 31 31 31 31 31 35 36 36 37 37 37 38 39 40 42
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ MapE -2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-5 -2 -2 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -2-5 -2 -3-1 -3-5 -2 -2 -3 -3-1 -3-5 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -1 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -3 -2 -2 -2 -3 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -3 -2 -3 -2 -3 -3 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -3 -2 -2 -2 -3 -2 -3 -2 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -3 -2 -2 -2 -2 -2 -3 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2	Cングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計	23 25 25 29 29 29 31 31 31 32 35 36 36 36 37 37 37 38 39 40 42
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4- 4-	手順 マッピ MapE -2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8)	C ングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計 apDraw でのスプール・ファイルの表示 設計例1]受注エラーチェックリスト プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 スプールデータのマッピング グルーブの作成 ブレビュー 設計例2]テルジャパン請求明細書 プロジェクトのプロパティ オーバーレイの作成 4 つの長方形と表の作成 オブジェクトの位置合わせ 表の作成 綱かけの背景の作成(表のヘッダー) オブジェクトを塗りつぶす色の選択 複数のオブジェクトの関連付け ロコの極す 3	23 25 25 25 29 29 31 31 31 31 31 35 36 36 37 38 39 40 42 44
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ MapE -2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9)	プングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする Draw による Mapping フォーマットの設計	23 25 25 29 29 29 29 29 29 31 31 31 31 31 31 35 36 36 37 38 39 40 42 43 44 45 46
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ MapE M: [-2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 9) 10)	C クグするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 25 25 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29
 2. 3. 4. 	4-1 4-2 4- 4- 4-3 4-3 4-	手順 マッピ MapE -2-1 -2-2 -2-3 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3-1 -3-2 1) 2) 3) (1 -3) (1 -2) 3) (1 -2) -2) 3) (1 -2) -2) -3) (1) 2) 3) (1) -3) (1) (1) -3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	C ノグするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする	23 25 25 29 29 29 31 31 31 32 35 36 36 36 37 37 37 38 39 40 42 44 43 44 45 46 47

RICOH InfoPrint Solutions

2	4-3	3-3 スプールデータのマッピング	48
	-	1) 固定ゾーンの作成	48
	2	2) バーコードの追加	50
		3) グループの作成	52
	4	4) 「請求書明細」のグループ	55
5.	-	プロジェクトの保存と MapDraw フォーマットの生成	56
5-1		PCL 出力と PDF 出力に共通の生成作業	57
5-2	2	PDFの生成について	58
6.	I	MapDraw フォーマットの取込み	61
第41	章·	- Mapping 処理の実行	64
1.	I	MAPCPYSPLF コマンド	64
2.	I	MAPSPLPDF コマンド	69
3.	I	Mappingによる対話型のスプール・ファイル処理	72
4.	I	MAPIFS2PRT コマンド	74
補足	••••		76
1.	I	MAP400 のダウンロード方法	76
2.	I	MapDraw のダウンロード方法	80
3.		バーコード・フォントのダウンロード方法	84



ガイドの目的

このガイドは、Mapping Suite をシステムへ導入し、Mappingの基本機能を利用できるようになる事を目的として作成されています。次のような目的で利用できます;

- ソフトウェアのシステム導入手順のガイダンスとして
- しばらくソフトウェアを使用していなかった場合の備忘録として

対象読者

Mapping Suite for System i のシステム管理者、もしくは、ソフトウェア利用者(一部 SE 向け)

ガイドの使用法

章ごとに異なるトピックを扱っていますので、目次を参照して必要に応じて参照してください。



第1章 - Mapping を System i にインストールする

1. 最初に

この章では IBM System i に Mapping ソフトウェアをインストールする方法を説明します。

2. 前提条件

- QSECOFR のパスワードを確認しておく必要があります。
- System i のシリアル番号、モデル番号、プロセッサー・タイプを確認しておく必要があります。
 ※確認の為 iSeries の 3 項目の値を取得するには、別マニュアル「iSeries にソフトウェア・ライセンス・キーを インストールするために必要な値を見つける方法」を参照してください。

最小要件:

- OS/400のバージョン: V4R5M0 以上
- ディスクの空き容量:120MB
- FTP で System i にアクセスできること

3. 手順

事前準備:

- 1. PCOM5250 セッション定義の画面サイズを 27 行×132 桁、ホスト・コード・ページを 939(日本語英数小文字拡張)に設定して下さい。
- 2.「QSECOFR」でサイン・オンします。
 注:必ず「QSECOFR」でサイン・オンしてください。
- 3. ジョブの CCSID が「5035」である必要があります。もし、5035 でない場合は、5035 に変更してください。 コマンド: CHGJOB CCSID(5035)
- 4. インストール媒体を準備します。(保管ファイル MAP400.SAVF が必要です。)
 - (MAP400.SAVF は MAPPING 社のサイトからのダウンロードも可能ですが、インフォプリント・ソリューション ズ・ジャパン(株)が CD で提供します。Mapping 社のサイトからダウンロードする場合、手順は巻末の「補足 MAP400.SAVF のダウンロード方法」を参照してください。)

手順:

- 1. 復元用の保管ファイルを作成します。
 - 例) CRTSAVF FILE(QGPL/MAP400)
- 2. ダウンロードした MAP400.SAVF を System i の保管ファイルへ転送します。

Windows のスタート・メニューから、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択する。 MAP400.SAVF が保管されているディレクトリーをカレントディレクトリーにした後、FTP を使用して System i へ転送する。

手順例)

FTP x .x .x . x (これは System i の IP アドレスです。これはお客様の環境によって異なります。) System i にログオン: user

- pwd
- Binary (バイナリー・モードに設定)

Cd qgpl (System i 上の「MAP400.SAVF」(手順1で作成した保管ファイル)が存在するライブラリーを指定)



Put map400.savf Close Quit(FTP の終了) Exit(コマンドプロンプトの終了) 3. 保管ファイルから QTEMP にオブジェクトを復元します。

- 例) RSTOBJ OBJ(*ALL) SAVLIB(QTEMP) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/MAP400) 4. 次のインストール用コマンドを実行してください。
- 4. 次のイノストール用コマノトを美打してください CALL PGM(QTEMP/RUNSETUP)
- 5. p.6 の「4. インストール」に進んでください。
- 6. p.10 の「5. ライセンス・キー導入」に進んでください。
- 7. p.12 の「6. 導入後の作業」に進んでください。



4. インストール

● インストールするライブラリー名を指定します。(通常は MAP400 としておくことを推奨します)

Change name if necessary, then press ENTER.	System : User :	S65B871C QSECOFR
stange time if noosbary, onon proob intim	0001	202001 N
LODRUN OPTxx		
Restore library ? MAP400		
Version of the product :	6.0.1.18	
Mapping suite Installation		
F3=Exit F12=Cancel Enter=Installation		

Enter キーを押します。



- サブシステム名を指定します。(通常は ROBOT としておくことを推奨します)
- システム言語とコードページを指定します。(言語: JPN、コードページ: 1027 を指定)
 日本における動作検証の結果、日本語環境ではコードページ 1027 を指定してください。
- 各ディレクトリーを指定します。(デフォルト値を推奨します)

INSTALL CHANGE SOFTWARE parameters		
Change name if necessary, then press ENTER.	System : User :	S65B871C QSECOFR
Sub Sytem Name MAPS ROBOT Lang FRA, ENU JPN 1027		
Path to mapdraw /home/mapping/ Path to Mapout		
/home/mapout/ Path to mapreport		
/home/mapreport/ Path to Mapsend /home/mapsend/		
/ μομο/ μαρβομα/		
F3=Exit F12=Cancel Enter=Install		

内容確認後、Enter キーを押してインストールを開始します。





この画面はインストール完了時に表示されます。Enterキーを押します。

この後、ライセンス・キーを入力する画面が表示されます。

後述する「5. ライセンス・キー導入」の「無制限またはオンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーを入力する」の手順を用いて、キーを入力してください。なお複数のキーを受け取る場合でも、この時点で入力するキーはどれか1つで構いません。 (残りのライセンス・キーの入力は、この後のステップで実施します。)

ここで F3 キーでの終了は行わないでください、インストールが中断されてしまいます。

ライセンス・キーの入力後、「環境設定画面(ENVIRONMENT SETUP)」が表示されます。(次頁参照)



- 会社名:アーカイブ用に使用します。(任意の値を指定できます。)
- 言語ファイルと言語 ID を指定します。(言語ファイル: MAPMSGJPN、言語 ID: JPN を指定)
- 桁区切り文字を指定します。(「,」半角カンマを指定)
- 小数点文字を指定します。(「.」半角ピリオドを指定)
- ユニコード・サポートを指定します。(「UCS2」を指定)
- CCSID は参考値です。通常は QCCSID の値がセットされます。例:65535 or 5035 etc)
- コードページは 1027(前の画面で設定した値)がセットされます。
- 上記以外の項目はデフォルト値を推奨します。

o fe fe 🚛 📾 📾 📾 📾 📾 🜒 🜒 🔗 🤗	
MAP_004	システム CARME 9/03/17 11-20-24
選択項目を入力後、実行キーを押してください。	J 00/17 11.20.24
会社名 : COMPANY ブログラム・ライブラリー : MAP400 ファイル・ライブラリー : MAP400 言語ファイル + 言語 D : MAPMSGJPI MAPOUT の保管バス : /home/mai ベージ・オーパーレイのパス : /home/mai MAPREPORT のパス : /home/mai MAPREPORT のパス : /home/mai MAPREPORT の使用ボート : 9012 Archive release : 5.1 新区切り 小教点 ユニコードのサポート (空白文は UCS2) : UCS2 CCSID とコード・ページ : 65533 変換テーブル (保管用) : 0037 19U 変換テーブル (取込用) : 132 新しいスプール・ファイル名 : \$ Merge Ovi, Fonts and Data : 0 Ip	
MALa MW 英毅 半角	
🕤 1902 - セッションが正常に開始されました	1

以下のいずれかの方法でインストールの結果を確認します。

- DSPJOBLOG コマンドでログを確認します。
- サインオフを行う時に、JOBLOG パラメーターに*LIST(SIGNOFF *LIST)とすると JOBLOG のスプール・ファイルにエラ ーや警告が出力されます。
- → 引き続き、ライセンス・キーの導入処理を実施してください。

5. ライセンス・キー導入

5-1 無制限またはオンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーを入力する

システムにソフトウェアがインストールされたら、MAPKEY コマンドを使用して対応するソフトウェア・ライセンス・キーを入力して、お 買い求めいただいたソフトウェアの機能およびオプションを有効にする必要があります。これを行うまでは、すべての機能およびオプ ションが「ロック」されたままなので、ソフトウェアを使用することができません。

コマンド・ラインで、「MAPKEY」と入力し、実行キーを押します。

情報を入力後、実行キーを押してください。		
シリアル番号	65B80	2.7
モデル番号	520	プロセッサータイプ 8325
プロダクト番号0		
ライセンス・キー :	_	
	-	

ライセンス・キーを入力する前に、ライセンスが該当システム向けに発行されたキーかを確認する必要があります。 確認項目は、上の画面の3項目についてです。

- シリアル番号:xxxxxx(例: 65B8xxx)
- モデル番号:xxx(例:520)
- プロセッサー・タイプ:xxxx(例: 8325)

キーの入力の前提条件として、この 3 項目と、ライセンス票(電子メール等の場合もある)に記載されている該当の 3 項目全て が合致している必要があります。

※確認の為 iSeries の 3 項目の値を取得するには、別マニュアル「iSeries にソフトウェア・ライセンス・キーをインストールするために必要な値を見つける方法」を参照してください。

キーの取得方法には、2つの方法があります。

事前に iSeries の 3 項目の値を MAPPING 社へ送り、電子メールで MAPPING 社から受けとる方法。 **※Mapping 社からのメールは <u>xxx@mappingsuite.com</u>から英語で届きます。誤って廃棄しないようにしてください**

又は、自身で<u>http://server.mappingsuite.com</u>のお客様 Web サイトでキーを生成する方法。 **※Web サイトでキーを生成する方法については、別マニュアル「ソフトウェア・ライセンス・キーを取得する」** を参照してください。

取得したキーを基に、キーを入力します。

ページ数無制限(つまり、無制限のソフトウェア・ライセンス・キー)をお買い求めいただいている場合、必要な作業は、これですべて終了しましたので、ソフトウェアの使用ができます。

ページ数の制限がある(つまり、オンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キー)をお買い求めいただいている場合、ページ・リフィル・ キーを入力して、お買い求めいただいたページ数を登録しなければ、ソフトウェアの使用ができません。

ページ・リフィル・キーの入力手順については、次頁を参照してください。



5-2 オンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーにページ・リフィル・キーを入力する

オンデマンドのソフトウェア・ライセンス・キーと共にページ・リフィル・キーを入力して、お買い求めいただいたページ数分の処理がで きるようにします。ページ・リフィル・キーは、お買い求めいただいたページ数をソフトウェアに補充します。

ページ・リフィル・キーは、MAPKEY コマンドではなく MAPADDPTS コマンド(MAPping ADD PoinTS)を使用して入力します。

コマンド・ラインで、「MAPADDPTS」と入力し、実行キーを押します。

選択項目またはコマンド ===> MAPADDPTS	

情報を入力後、実行キーを	と押してください。
ID: 保管パス シリアル番号: 残りの処理数 購入した処理数 次回リセット: キーの種類:1 ライセンス・キー:	8a118e00(0) /home/mapping/key/map_key.key 65B8 0.0 0.0 Thu Sep 11 17:25:39 2008

<u>表示される情報</u>

ID: 固有の ID です。
 最初に MAPADDPTS コマンドを実行するとシステムによって自動生成されます。この ID は重要です。

ページ・リフィル・キーの入手のためには以下の手順を踏む必要があります。

- 1. 最初に MAPADDPTS コマンドを実行して自動生成された ID を記録します。
- 2. この ID を、MAPPING 社から受け取ったソフトウェア・ライセンス・キー情報と共に、インフォプリント・ソリューションズ・ ジャパンのメールアドレス mapping.jp@infoprint.com までお送りください。
- 3. その後、MAPPING 社より、送られた ID に基づいて生成されたページ・リフィル・キーが送付されます。
- (2) 残りの処理数:残りの利用可能枚数。1 年後の同じ日に、お買い求めいただいたページ数にカウンターがリセットされ ます。上の例では、次のリセットは 2008 年 9 月 11 日木曜日の 17:25 です。
- (3) 購入した処理数。
- (4) キーの種類:キーと同時に入力が必要です。例えば、入力するキーがリフィル・キーまたは緊急キーの場合には、ここに 1をセットします。
- (5) ライセンス・キー:電子メールで MAPPING 社から受けとった、または自身で <u>http://server.mappingsuite.com</u>のお客様 Web サイトから取得したページ・リフィル・キーを入力します。

<u>ページ・リフィル・キーの例</u>

ページ・リフィル・キーは、6桁の英数字の連続が6つと、さらに2桁の制御文字で構成されています。

01ECA5 046D0 D829DE 7086D1

00D100 D00000 D0



6. 導入後の作業

Mapping for System i のフィックス(プログラム修正)の適用:

必要に応じてMapping ソフトウェアのフィックス(プログラム修正)を適用します。フィックスの具体的な適用方法については、まず 以下の資料をご確認下さい。(資料はCD内にあります。)

「Mapping_System_i_累積的なフィックスの適用」

・ 「Mapping_System_i_V6R1対応フィックスの適用」

その他に個別のフィックスがある場合もあります。その場合には、インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)からガイド致しますのでそれに従ってください。

Mapping 提供のユーザー・プロファイル「MAPPING」の設定:

必要に応じて Mapping 提供のユーザー・プロファイル「MAPPING」を適切な状態に設定します。

ユーザー・プロファイル「MAPPING」は、パスワードがセットされていない状態で出荷されます。このユーザーを対話的に、あるいは MapDraw から利用するためにはパスワードをセット必要があります。その為には以下の手順を踏んでください。

コマンドラインで WRKUSRPRF USRPRF(MAPPING)を実行する。 実行後、オプション 2 の変更で、MAPPING のパスワードをセットする。

ユーザー・プロファイル「MAPPING」は、Mapping for System i の自動実行サブシステム Robot で使用されます。Robot 配下 で実行される Mapping コマンドを実行するジョブは、ジョブの CCSID が 5035 である必要があります。これを簡単に実現するた めには、以下の手順を踏んでください。

コマンドラインで WRKUSRPRF USRPRF(MAPPING)を実行する。 実行後、オプション 2 の変更で、MAPPING の CCSID を 5035 にセットする。

Mapping で使用される OUTQ「PRT01」の作成:

現時点では、Mapping for System i は実行時に出力待ち行列「PRT01」が存在している必要があります。もしシステム上に これが存在していない場合には、例えば以下の手順を踏んでください。

コマンドラインで CRTOUTQ OUTQ(QGPL/PRT01)を実行して、PRT01 を作成する。

System i 上での環境変数 DBCSSIZE2 の設定:

現時点では、Mapping for System i で日本語を扱う場合、環境変数 DBCSSIZE2 を作成し、値を'1'に設定する必要があ ります。これは Mapping の機能を使用する各ジョブで必要ですが、この環境変数をシステム・レベルで設定すれば、Mapping 使 用の際の手間が省けます。例えば以下の手順を踏んでください。

コマンドラインで ADDENVVAR ENVVAR(**DBCSSIZE2**) VALUE('1') LEVEL(*SYS) と実行する。 ※ENVVAR のパラメーター値[DBCSSIZE2]は必ず、大文字で指定してください。



System i 上での環境変数 MAPPINGPDFNOCOMPRESS の設定:

環境変数 MAPPINGPDFNOCOMPRESS は PDF の作成速度と作成された PDF のサイズに関するオプション設定です。環 境変数 MAPPINGPDFNOCOMPRESS を作成し、値を'1'に設定すると PDF の作成速度は速くなりますが、設定しなかった 場合に比較して PDF のサイズは大きくなります。

PDF の作成速度とサイズのどちらを重視するかによって設定するか否かを判断してください。

設定する場合には環境変数 DBCSSIZE2 と同様に例えば以下の手順を踏んでください。

コマンドラインで ADDENVVAR ENVVAR(MAPPINGPDFNOCOMPRESS) VALUE('1') LEVEL(*SYS) と実行する。 ※ENVVAR のパラメーター値[MAPPINGPDFNOCOMPRESS]は必ず、大文字で指定してください。

これらの環境変数の設定が終わった後に開始するジョブでは、コマンド WRKENVVAR を実行すると、以下のような画面(枠内) が確認できるはずです。

<mark>9]</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アウション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) エಱュキቋンが考知 (* IOP) の カロ エ囲	
現現愛奴(AJUB)の処理	
オブションを入力して,実行キーを押してください。 1= 追加 2= 変更 4= 除去 5= 詳細の表示 6= 印刷	
OPT 名前 值	
DBCSSIZE2 '1' MAPPINGPDFNOCOMPRESS '1'	
UIBM_ZLC_NU_BRUWSE 11 LANG '/QSYS.LIB/JA_JP_5026.LOCALE	' >
パラメーターまたはコマンド ===>	終わり
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F9=テu]n゙複写 F11 F12= 取消し F16=メヌn ED刷 F17= 上部 F18= 下部 F22=ホァ- (C) COPYRIGHT IBM CORP. 1980, 2005.	=CCSID 表示 モn [°] 全体表示
Mû c M⊌ 英数 半角	07/003



第2章 - MapDrawをPC にインストールする

1. 最初に

この章では Windows PC に MapDraw ソフトウェアをインストールする方法を説明します。

2. 前提条件

サーバー(System i)の IFS 上に作成された Mapping 用のディレクトリーが、NetServer 機能により共用フォルダーとして PC から利用可能になっていること

導入時のパラメーター 「Path to mapdraw」(P.7 参照)で指定されているディレクトリー(デフォルトでは

/home/mappimg/)が Windows の Explorer からアクセス可能になっていることを確認してください。 この資料では、IFS ディレクトリー /home が共用フォルダーとして公開され、Windows からは Z: ドライブとしてマップされて いるものと想定して説明します。(注:/home は一般に各ユーザーの個人用ディレクトリーを配置する場所として使われま す。)

- 上記フォルダーへの書き込みアクセス権限
- PC へのソフトウェア・インストール用の管理者権限

最小要件:

- Pentium III 800 MHz (または同等)
- Windows 2000、XP または 2003
- 128 MB の RAM
- 20 MB の空きディスク容量

3. 手順

1. セットアッププログラムを準備します。

セットアッププログラムはインフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(㈱が CD で提供します。

もしくは Mapping 社のサイトからダウンロードすることも可能です。

※ダウンロードの手順は巻末の「補足 MapDraw のセットアッププログラムのダウンロード方法」を参照してください。 2. Windows PC でセットアッププログラムを実行します。p.15 の「4. インストール」に進んでください

3. p.20 の「5. 導入後の作業」に進んでください。

4. p.20 の「6. System i との接続の設定」に進んでください。



4. インストール

🕈 MapDraw - InstallShield Wizard 🚬 🔀
Extracting Files The contents of this package are being extracted.
Please wait while the InstallShield Wizard extracts the files needed to install MapDraw on your computer. This may take a few moments.
Reading contents of package
InstallShield

「Next >」をクリックして、インストールを開始します。

InstallShield Wizard		×
	Welcome to the InstallShield Wizard for MapDraw The InstallShield® Wizard will install MapDraw on your computer. To continue, click Next.	
	< <u>B</u> ack [<u>Next</u> > Cancel	



使用許諾契約に同意する場合は、「Yes」をクリックします。

InstallShield Wizard X		
License Agreement Please read the following license agreement carefully.		
Press the PAGE DOWN key to see the rest of the agreement.		
ACCORD DE LICENCE D'UTILISATION ET GARANTIE LIMITEE DES LOGICIELS POUR AS/400 DE COGINORD sa		
Le présent document constitue un acte juridique et un accord de licence d'utilisation et garantie limitée entre vous, le CLIENT et la société COGINORD SA, l'EDITEUR. Une clé vous sera remise permettant l'utilisation du logiciel. Le fait d'entrer une clé pour valider l'utilisation du logiciel pour une durée illimitée vaut acceptation de la licence		
Do you accept all the terms of the preceding License Agreement? If you choose No, the setup will close. To install MapDraw, you must accept this agreement.		
InstallShield		
< <u>B</u> ack <u>Y</u> es <u>N</u> o		

必要ならインストール先のディレクトリーを変更し、「Next >」をクリックします。

InstallShield Wizard
Choose Destination Location Select folder where Setup will install files.
Setup will install MapDraw in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder C:\Program Files\MapDraw
InstallShield <u>Kancel</u> Cancel



System i 上の IFS フォルダーのパスを選択し、「Next >」をクリックします。

InstallShield Wizard		×
Choose Destination Location Select folder where Setup will install files.		
Please select the path for the IFS folder on you	r AS/400 :	
C:\Program Files\MapDraw\LocalFTP\		
		B <u>r</u> owse
InstallShield	< <u>B</u> ack	Next > Cancel

InstallShield Wizard 🔀				
Select Components Choose the components Setup will in	stall.			
Select the components you want to i	nstall, clear the components you do not want to install. 15199 K 6 K 377 K Description This component includes executable and dll files Change			
Space Required on C: Space Available on C: InstallShield	18816 K 5340768 K <u>K</u> ack <u>N</u> ext > Cancel			

必要なら、Windows プログラム・メニューでのショートカットを変更し、 「Next >」をクリックします。

[「]Next >」をクリックして、すべてのコンポーネントをインストールします。



InstallShield Wizard		×
Select Program Folder Please select a program folder.		
Setup will add program icons to the Program Fo name, or select one from the existing folders lis	older listed below. You may type a t. Click Next to continue.	new folder
<u>P</u> rogram Folders: <mark>MapDraw</mark> Existing Folders:		
Accessories Accessories Adobe Adobe Acrobat 4.0 Canon CHESS CHAMP 2.0 ConfigSafe Démarrage DivX		
InstallShield	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext >	Cancel

インストール・プロセスが終了するのを待ちます。

InstallShield Wizard	×
Setup Status	
MapDraw Setup is performing the requested operations.	
Installing: Copying help file and samples	
98%	
InstallShield	
	Cancel



「Finish」をクリックして、インストール・ウィザードを終了します。

注:

MapDraw を利用するのにソフトウェア・ライセンス・キーは必要ありません。Mapping for System i のライセンスを保有していれば、 必要な台数分の PC に MapDraw をインストールして構いません。



5. 導入後の作業

MapDraw のフィックス(プログラム修正)の適用:

必要に応じてMapDrawのフィックス(プログラム修正)を適用します。フィックスの具体的な適用方法については、まず以下の資料をご確認下さい。(資料はCD内にあります。)

・ 「MapDraw_フィックスの適用」

その他に個別のフィックスがある場合もあります。その場合には、インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)からガイド致しますのでそれに従ってください。

6. System i への接続の設定

この資料では、IFS 上の共用フォルダーを利用して System i へ接続する方法を記述します。 ※IFS を Windows クライアントから共有フォルダーとして参照する事ができない場合には、iSeires ナビゲーター(iSeries Access)を利用して NetServer の設定を行ってください。 詳細は IBM System i のマニュアルを参照してください。

Windows のスタート・メニューから[MapDraw Unicode]を起動します。
 新規プロジェクト画面が表示されます。ここでは「キャンセル」ボタンを押してください。

新規プロジェクト	
FCL5 PCL5e	プリンターの設定 ページ・サイズ(P): 片面/両面(S): A4 (21.0 x 23.7 cm) ♥ 片面 ♥
「詞意 片面: 問面: Potrait ♥	Xマージン: Yマージン: 0.66 cm ・ 0.66 cm ・ 暗(火): 高彩田:
パラメータ フォーマット名: DEFAUT 00010 説明:	0.00 cm ▼ 0.00 cm ▼ 総紙トレイ(): 排紙トレイ(): 0 0 部数: 0 Couponing project
	OK *+v2tz/u

2. [ファイル]メニューから、[プリファレンス]を選択します。





Dダイン: サーバーのパス: パスワード: 説いたときにプロジェントをロックする bak ファイルを作成する V 移動の前にオブラントを選択する V Enable scripts editor

[モード]

「XML」を指定します。(「スプール」という選択肢がありますが、現時点では「XML」を指定してください。) 「1200 Unicode」を指定します。

[コードページ]	「1200 Unicode」を指定します。
[サーバー名]	Mapping サーバーを識別できる任意の名称を入力します。(ここでは「mpserver」と指定)」
[FTP を使用する]	チェック無し。



[共有フォルダー] System i の NetServer 経由で接続される IFS 上のディレクトリーを指定します。導入時のパラメーター「Path to mapdraw」(P.7 参照)で指定したディレクトリー(デフォルトでは/home/mapping/)を設定してください。また、文字列の最後に必ずバックスラッシュ「\」を入力してください。 この例では、IFS の/home が PC 側の Z:ドライブにマップ(割当)されていると想定しています。つまり IFS の /home/mapping/ が PC の Z:¥mapping¥ に対応しますので、これを指定します。

※ネットワーク コンピュータまたはフォルダにドライブ文字を割り当てる手順(一例)

- 1. マイ コンピュータを開きます。
- 2. [ツール] メニューの[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。
- 3. [ドライブ] で、ドライブ文字を選択します。
- [フォルダ] ボックスに、サーバー名、および対象のコンピュータまたはフォルダの共有名を入力します。(例 : ¥¥⟨サーバー 名>¥<共有名> または [参照] をクリックして、コンピュータまたはフォルダを検索します。)
- 5. ログオンするたびに割り当て済みのドライブに再接続するには、[ログオン時に再接続する] チェック ボックスをオンにしま す。

「OK」ボタンをクリックして登録します。これで MapDraw の環境設定は完了です。



第3章 - MapDraw を利用して帳票設計する

1. 最初に

この章では Windows PC で MapDraw を利用して新規に帳票レイアウトを作成し、System i に保管する方法を説明します。

2. 手順

1. PCOM5250 セッション定義の画面サイズを27 行×132 桁、ホスト・コード・ページを939(日本語英数小文字拡張)に設定して下さい。

- 2. System i にサイン・オンします。
 - 1) ジョブの CCSID が「5035」である必要があります。もし、5035 でない場合は、5035 に変更してください。 コマンド: CHGJOB CCSID(5035)
 - 2) ライブラリー・リストに「MAP400」がある必要があります。もし、なかった場合は、ライブラリー・リストに追加してください。 コマンド: ADDLIBLE LIB(MAP400)
- 3. マッピングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できる形式 (.PAG ファイル)に変換します。
- 4. MapDrawを利用して Mapping フォーマットを作成します。次のふたつの手順が必要になります。
 - 1) (必要に応じて)オーバーレイの設計
 - 2) スプールデータのマッピング
- 5. 作成したフォーマットを System i に取り込みます。

3. マッピングするスプール・ファイルを MapDraw で参照できるようにする

System i 上で、処理対象のスプール・ファイルを選択します。 System i のコマンドプロンプトで「GO MAPPING」を実行します。





「1. スプール・ファイルの処理」を選択します。

<mark>3]</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
Work with Spoolfiles (Mapping (CUGISPLEUS)	
選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
User	
	終り
F3= 終了 F4=ボリJAin F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	
MB c MW 英数 半角	05/037

以下を指定して対象のスプール・ファイルを検索します。(検索時間を短縮する為には、出来るだけ条件を指定してください。)

- ユーザー名、*ALL または *CURRENT
- OUTQ
- スプール・ファイル名
- 用紙タイプ
- ユーザー・データ (USRDTA)

次のような画面が現れますので、MapDraw で参照したいスプール・ファイルの前に「P」(PC への送信)を入力し、Enter キーを 押します。

ジ セッション C [2	/ x 132]	
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
MAPD006	スプール・ファイルの処理 MORINAG 10/09.	A CARME /28 15:11:01
選択項目をみ 1= 送信 2= 変 M=MAPPING OPT ファイル	力後、実行キーを押してください。 更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解放 7= メッセージ 8= 属性 9= ED刷状況の処理 R= 再ED刷 D= 複製 P= PC への送信 V= USERASCII ファイルの表示 ユーザー ジョブ 番号 7rイル NO_OUTQ STS ^^^シ^ <mark>&scii</mark> 日付 時間	
 QPQUPRFIL TKGRAPHP XSAMPPRT QPQUPRFIL QSYSPRT DEM040 DEM070 DEM001 	MAPPING QPADEV0003 205291 4 DEMOOUT HLD 1 3 198 04/09/09 09:50:04 *STD MORINAGA QPADEV0004 205347 2 DEMOOUT HLD 1 3 132 08/09/09 16:57:35 TKGRAPH *STD KENJO SR52PA 165103 19 DEMOOUT SAV 1 446 132 08/07/08 13:52:13 XSAMPA *STD QSECOFR QPADEV0004 211252 33 DEMOOUT HLD 1 7 132 30/11/09 13:41:19 *STD MORINAGA QPRJOB 189083 10 DEMOOUT HLD 1 6 132 09/07/09 16:41:39 *STD MAPPING QPADEV0009 221010 3 DEMOOUT HLD 1 64 132 22/01/10 09:42:18 XSAMPA *STD MAPPING QPADEV000B 134581 6 DEMOOUT HLD 1 100 198 29/01/10 16:09:36 覚らサブ 3SC MAPPING QPADEV0003 205756 8 DEMOOUT SAV 1 24 132 30/09/09 17:50:42 *STD	
P DEMO51P ■ DEMO52P	MORINAGA QPADEV0004 269889 1 DEMOOUT HLD 1 2 132 13/08/10 16:29:48 DEMO51R *STD MORINAGA QPADEV0004 269889 2 DEMOOUT HLD 1 2 132 13/08/10 16:29:51 DEMO52R *STD	
F1= \\\/7°	3= 終了F4= プロンプト F5= 最新表示 F11= 詳細 F12= キャンセル F17= 最初 F18= 最後	終わり
F21=372F	+22- E1刷装直	
M E C	MJ 英数 半角 17/002	



「PC へのスプール転送」パネルが表示されます。

- 開始ページと終了ページを、必要と思われるページ数だけ指定します。
- 出力ファイルに、任意のファイル名を指定します(必ず.PAGという拡張子を付加してください)。
- コードページは必ず明示的に指定してください。
 CCSID5026 環境で作成されたスプールの場合、コードページは「290」を指定します。
 CCSID5035 環境で作成されたスプールの場合、コードページは「1027」を指定します。
 ※英小文字を使用する場合には、その操作を行うジョブは必ず CCSID5035 にしておいてください。

<mark>8]</mark> セッション C [27 x 132]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アウション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
MAPD006 スプール・ファイルの処理	MORINAGA CARME
選択項目を入力後、実行キーを押してください。 1=送信 2=変更 3=保留 4=削除 5=表示 6=解放 7=メッセージ 8=属性 9=EPR明状況の処理 M=MAPPING R=再EPRID D=複製 P=PC への送信 V=USERASCII ファイルの表示 OPT ファイル ユーザー ジョブ 番号 7r //k NO OUTQ STS ページ Ascii 日付 	rogram / Library 93:50:04 *STD 16:57:35 TKGRAPH *STD 13:52:13 XSAMPA *STD 13:41:19 *STD 16:41:39 *STD 16:09:36 覚らサブ 3SC 17:50:42 *STD 16:29:48 DEMO51R *STD 16:29:51 DEMO52R *STD
	終わり
F1= ヘルフ゜ F3= 終了 F4= プロンプト F5= 最新表示 F11= 詳細 F12= キャンセル F17 F21=コマンド F22= ED刷装置	7= 最初
Mé c MW 英数 半角 17/085	

Enter キーを押して確定します。これで、MapDraw で参照できる形式に変換されました。変換されたファイルは、Mapping 導入時に指定した IFS ディレクトリー、デフォルトでは「/home/mapping/」に保存されます。

注: 複数の人がこの操作(PC へのスプール転送)を行うと、同じ名前のファイルは上書きしてしまいます。

4. MapDraw による Mapping フォーマットの設計

最初に MapDraw で帳票設計を行うに当り使用する用語について説明します。

- マッピング MapDraw での帳票設計全般およびスプールデータの配置
- プロジェクト MapDraw で IFS または PC 上に作成するファイルの総称
- フォーマット MapDraw で設計した帳票レイアウトの System i 上での呼称
- シーケンス 同一フォーマットで複数レイアウトに対応する場合の連番

4-1 MapDraw でのスプール・ファイルの表示

最初に[MapDraw Unicode]を起動します。PC のスタート・メニューまたはデスクトップ上のショートカットから起動します。



👫 MapDraw Unicode (1200)				_ 2 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) セットアップ(S) ツール(D 072F010 ?			
	€ < □ ⊂ 2 2 2 0			
MS Mincho V 9 V B U	7 ĒĒĪĒ 🐉 🚿 X: Y: L:	— н:		
	新知力ロジェクト 第5 第15 第15	フリンターの設定 ペーラ・サイズ(P): 44 (21,0 x 29,7 cm) 2066 cm 1100 1100 1100 1100 1100 1100 1110	H面/雨面(S): H面 Y マージン: 0.66 C cm X25 []: 0.00 cm ###Fレイ(D): 0	
イド 調力 一丁 前告		Draw F AMap F	+	

「新規プロジェクト」パネルが出ますがこれはとりあえず「OK」します。 次のような画面が表示されます。

1	lapD	aw Unicode (1200) - [- (- MapDraw):2]		
-	771)	(E) 編集(E) 表示(V) セットアップ(S) ツール(T) ウィンドウ(N) ?		_ @ ×
]	6	🖩 🔈 🖹 🙋 🄌 🖉 🍽 🗰 🛃 🔍 100% 🔤 🗖 🖄 🖉 🥥		
MS	Mine	。 ♀ 9 ▼ B 里 <i>I</i> ≡ ≡ ≡ ≡ × : [34.0] × : [21.0] ∟ :	[0.00] H : [0.00]	
4				1
~	2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	5 - 1			
	- 0			
	4			
\bigcirc	9 - 0			
\bigcirc				
1	0			
2	0 0			
<u> </u>	Ē			
2	121			
۶	4113			
1	1511		-	
۵	10			
٢	8117			
1	191			
	1201			
	2121			
	2312			10
	1241			
	6125			
	2712			
	1281			
	128	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
			~	< >> T
11= !			Draw E Map E	
_				

上図の通り MapDraw の画面は 左右でふたつの部分に分割されています。右側に帳票設計に使用するスプール・ファイルを表示し、左側で帳票設計を行います。

(画面が左右でふたつの部分に分割されていない場合には、[スプール・ファイルを表示する] 🛄 アイコンをクリックします。)



帳票設計に使用するスプール・ファイルを画面表示するには、右側の任意の場所をクリックし、[スプール・ファイルのロード] 🎑 アイコンをクリックします。すると「ファイルを開く」画面が表示され、先ほど変換した. PAG ファイルが選択できるようになります。

ファイルを開く							? 🛛
ファイルの場所型:	🚞 mapping		*	6	1 🖻		
よび使ったファイル ぼうたファイル デスクトップ マイドキュメント マイコンピュータ	docpc justify justify leobitmap ttf DEMOSI P.PAG EAN128P.PAG FAN128P.PAG P FAN128SP.PAG P ORFINT PAG OR5400P.PAG OR5400P.PAG TKGRAPHP.PAG TKGRAPHP.PAG TOUDENP.PAG						
マイ ネットワーク	ファイル名(<u>N</u>):	DEMO51P.PAG				*	<u>開(()</u>
	ファイルの種類(工):	Spool (*.pag)				*	キャンセル

帳票設計に使用するサンプルのスプール・ファイルを選択し「開く」ボタンをクリックすると次のような画面が表示されます。



選択した.PAG ファイルは画面の右側に表示されます。画面のこの部分ではズームインおよびズームアウト機能(<PageUp>お よび<PageDown> キー)を使用することができます。スプール・ファイルに複数のページがある場合は、垂直スクロール・バーの 上部と下部にある<二重矢印>キーをクリックして、ページを切り替えることができます。

MapDrawの画面には[DrawF]タブと[MapF]タブがあります。上図は[DrawF]タブが選択された状態です。 オーバーレイの設計時には[DrawF]タブを選択し、スプールデータのマッピング時には[MapF]タブを選択します。



それでは MapDraw を利用して、以下のサンプル帳票を作成していきましょう。

- 【設計例1】 受注エラーチェックリスト では既存帳票のレイアウトを変えずに簡単に帳票設計を行います。
- 【設計例2】 テルジャパン請求明細書 は MapDraw の様々な機能を使用して高付加価値化した帳票 設計を行う例です。

4-2 【設計例1】受注エラーチェックリスト

この例は例えば従来のストックフォームを A4 カット紙に移行するような例を想定しています。 既存帳票のレイアウトを変えずに簡単に帳票設計を行うことができます。

🌇 MapDraw Unicode (1200) - [- (Map	ping表面.mpi):2]			
👫 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) セットアッ:	プ(S) ツール(II) ウィンドウ(N) ?			- 8 ×
] 🗋 📂 🖬 🖕 🗎 💼 🧔 🌭 🔗 🕲	🏙 🖻 🔍 🔤 23% 🔽 🛄 🖆 🙆 2			
MS Mincho 🗸 9 🗸 B	Ŭ / ≣ ≣ ≣ ■ 🚿 🛷 x: [3	37.2 Y: 4.91 L: 0.00 H: 0.00		
	Point X to be Four-LD JOB-LD 01 0.4 <	*** # 11 > - * z y 0 y 2 + ** TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JOG - TO # Few ELT > - CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D JA CO JA CO JA CO TSEE - D	I DO DO LA	
		Draw F A Map F	• •	

MapDraw はプレビュー機能を持っています。[プレビュー] アイコンをクリックすると出カイメージを確認することができます。 上図は設計完了後にプレビュー表示をした画面です。 ここからは、上図の受注エラーチェックリストを設計する手順を解説していきます。

4-2-1 プロジェクトのプロパティ

最初にプロジェクトのプロパティを定義する必要があります。[セットアップ]メニューで[ページのセットアップ]を選択するか、[プロジェ クトのプロパティ] アイコンをクリックします。この画面では、向き(縦長か横長か)、片面か両面か、プリンターの設定(給紙ト レイと排紙トレイ、ページ・サイズ)、マッピングの設定(フォーマット名、シーケンス)などを設定できます。



ここでは下図の通り設定します。

'cm) 👻	<u>片面</u> Yマージン:		4.4
	Yマージン:		Y
0.00			_
Cm Y	0.66	cm	~
1.5 C	高さ(H):		_
cm 💉	0.00	cm	V
	排紙トレイ (Q	<u>p</u> :	
	0		
roject			
	cm 💌	cm 図 0.00 排紙トレイ (0 0	cm <u>0.00</u> cm 非紙トレイ (型): 0

- 向き 片面
- パラメーター フォーマット名
- <u>パラメーター シーケンス</u>
- パラメーター 説明
- プリンターの設定 ページ・サイズ
- プリンターの設定 片面/両面

Landscape(横向き) <u>DEMO</u> 00010 132*66 A4 Landscape A4 片面

※フォーマット名は、SBCS で 10 文字以内、かつ System i 上でユニークになるようにしてください。また説明も、SBCS のみで 記述することをお勧めします。(説明に DBCS は入力できますが、5250 画面から見ると正しく表示されません。)

[シーケンス]は同じフォーマットに対して複数の設定が可能です。例えば、同一スプール・ファイル内で表紙と明細というように複数のレイアウトが必要な場合に有効です。この例ではレイアウトはひとつしか使用しませんのでデフォルトの「00010」を指定します。

その他の項目は任意で設定してください。



4-2-2 オーバーレイの作成

この帳票ではオーバーレイの作成は不要です。

4-2-3 スプールデータのマッピング

[DrawF]はオーバーレイを設計する作業画面ですので[DrawF]が選択されている場合には[MapF]タブをクリックして作業画面を切り替えてください。

スプールデータのマッピングには「グループ」と「ゾーン」というふたつの概念が必要になります。 グループは行の繰り返しに対応します。すなわち縦の制御を行います。 実際のデータはゾーンによって配置されます。 繰り返し行でない場合は、ゾーンの配置位置がデータの出力位置そのものになります。 繰り返し行の場合には、ゾーンは横位置のみを制御し縦位置はグループにより決定されます。

この帳票は「1 桁目から 132 桁目を 66 行繰り返す」という考え方で設計することができますので、グループとゾーンをひとつずつ 設定することで簡単に帳票設計を行うことができます。

1) グループの作成

グループは帳票の繰り返し行に対応します。 この帳票はオーバーフローが 66 行ですので 1 行目から 66 行目までのグループを作成します。

グループを作成するには[固定グループ] 「アイコンを使用するか、右側のスプール・ファイル画面から必要な行数(桁数は任意)を選択し左側の作業画面上にドラッグ・アンド・ドロップします。 固定グループの設定画面が表示されますので下図の通り設定します。

<<固定グループ_新規グループタブ>>

固定グループ		
新規グループ実行 コメント		
グループ名: GROUP1	● 排他的な条件	
開始行(<u>S</u>): 終了行(<u>E</u>):		
1 66		
グループの上部から計測した最初の行のEP刷位	送 :	
0.42 cm 💌		
	OK キャンセル 適用(A)	~117

- グループ名
- 開始行
- 終了行

- 任意(ここでは「GROUP1」とします。) 1 66
- 的剧性学
- グループの上部から計測した最初の行の印刷位置

※[グループ名]は、SBCS で 10 文字以内です。

0.42cm(デフォルト値)



「OK」ボタンをクリックすると左側の作業画面上に赤点線でグループが作成されます。 ここで作成されたグループで重要なのは上辺の位置です。(最初の行はグループの上辺を基準に設定されます。)

グループの実行に条件を持たせる場合は[実行]タブで設定できます。この例では条件の設定は行いません。

2) ゾーンの作成

グループを作成しただけでは、データは出力されません。グループに属するゾーンの作成が必要になります。 この帳票は 132 桁ですので 1 桁目から 132 桁目までのテキストゾーンをグループ内に作成します。

ゾーンを作成するには[ゾーン] アイコンをクリックするか、右側のスプール・ファイル内のゾーン値を選択し左側の作業画面 上にドラッグ・アンド・ドロップします。

ゾーンのプロパティの設定画面が表示されますので下図の通り設定します。

<<ゾーンのプロパティ_データ位置タブ>>

ゾーンのプロパティ				X
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント				
ゾーン名(Z): ZONE1				
データ位置	タイプ(1):			
	न्द्रिर 💌			
	標準			
列: 長さ(止):	ゾーン条件(2)	Y シフト(<u>S</u>):		
	なし 💌	0.00	cm 💌	
			冒筆給用	
ゾーンの後に追加する文字:				_
	ОК	キャンセル	通用(<u>A)</u>	~ <i>117</i>

- ゾーン名 任意(ここでは「ZONE1」とします。)
 - 列 1
 - 長さ 132
- タイプ テキスト、標準
- その他項目 (デフォルト値)

※[ゾーン名]は、SBCS で 10 文字以内です。

「OK」ボタンをクリックすると左側の作業画面上に青実線でゾーンが作成されます。 グループ内のゾーンは横位置のみを制御しますので配置位置を調整してください。 (グループに属さないゾーンの場合は縦横両方の位置を決定します。) なお、グループ内ゾーンは先に設定したグループからはみ出さないように配置する必要があります。必要に応じてグループの大き さを変更してください。

[フォントとスタイル]タブでは自由に体裁を整えることができます。この例では下図の通り設定します。



<<ゾーンのプロパティ_フォントとスタイルタブ>>

ゾーンのプロパティ			
データ位置 フォントとスタイル 条件 コ			
フォント名(E):	プレビュー :		
MS Mincho 🛛 🏹 フォ	ント		
サイズ:			
9			
横位置(<u>A</u>)			
上 (上)			
同意(0):	L] #¥1≄ Ŵ		
<u>∪</u> ★** (₩).			
100	■固定ピッチ		
	25 😴 🗄		
		OK キャンセル	道用(<u>A</u>) ヘルプ

- フォント名
- サイズ
 - 9 - 25(固定ピッチにチェックを入れます。)
- 固定ピッチ● その他項目
 - (デフォルト値)

MS Mincho

行の間隔は[条件]タブで設定できます。この例では下図の通り設定します。

<<ゾーンのプロパティ_条件タブ>>

なし		*	<u>新規(N)</u>	<u>削除(D)</u> 後:	0.29 cm	✔ 前:	0.00 c	:m 💌	
(J - 1) *	で、データが行間に存	液します1 & 66 in line	現在 🗸	between columns	0 and	0	the value		
*	~	in line	現在 🗸	between columns	0 and	0	the value [
*	~	in line	現在 🗸	between columns	0 and	0	the value [
	論理ルール:								

● 間隔 後 0.29cm

•

- 間隔前 0.00cm
- その他項目 (デフォルト値)

[条件]タブ内のこの他の項目の指定によりゾーンの実行に条件を持たせることもできます。この例では、条件の設定は行いません。



ここまでのグループとゾーンの設定で以下の通り設定されたことになります。

<u>グループの設定</u>

- 印刷範囲: スプール・ファイルの1行目から66行目
- 最初の行の印刷位置はグループの上辺から計測して 0.42cm

<u>ゾーンの設定</u>

- 印刷範囲: スプール・ファイルの1桁目から132桁目
- 各行の間隔は 0.29cm
- フォント: MS Mincho、サイズ:9、固定ピッチ:25



3) プレビュー

これで下図の通り帳票設計が完成しました。



[プレビュー] 2771ンをクリックしてプレビューを表示してみます。

🚹 MapDra Nortル(日	/ Unicode (1200) - [- (Mappine表面.mpi):2] 編集(E) 表示(V) セットアップ(S) ツール(T) ウィンドウ(V) <u>?</u>			_ = ×
] 🗋 💕 🖬				
100 100 100 100 100 100 100 100 100 100			7 27-µ·ビュx.*home#mapping#DEMOSIP 1 0 1 1	.PAG-(1/2) ×
 1.201 491 451 451 461 451 451 451 451 451 451 451 			0 2 : 2 2 : 3 7 0 3 : 4 4 : 2 9 0 3 : 4 5 : 2 7 0 4 : 2 2 : 3 6 0 7 : 2 3 : 0 1 0 7 : 3 4 : 2 8 0 7 : 5 3 : 3 3 0 8 : 0 1 : 0 6 0 8 : 0 3 : 3 9 0 9 : 0 3 : 3 4	2 9 1 7 2 9 1 2 2 2 8 5 8 8 5 1 4 4 1 7 9 8 6 5 7 5 1 7 2 5
作는 물법 드기 1	Draw F A Map F /	+	D 14 4 1/	2 🕨 🕅

ここから先の手順は「5. プロジェクトの保存と MapDraw フォーマットの生成」を参照してください。
4-3 【設計例2】テルジャパン請求明細書

この例は既存帳票を付加価値化(カラー化、イメージ追加、バーコード追加等)します。これは MapDraw の様々な機能を使用することにより実現可能です。



4-3-1 プロジェクトのプロパティ

まずはプロジェクトのプロパティを定義します。[セットアップ]メニューで[ページのセットアップ]を選択するか、[プロジェクトのプロパテ

ィ] アイコンをクリックします。この画面では、向き(縦長か横長か)、片面か両面か、プリンターの設定(給紙トレイと排紙トレイ、ページ・サイズ)、マッピングの設定(フォーマット名、シーケンス)などを設定できます。

ここでは下図の通り設定します。



	PCI5e	ープリンターの設定 ページ・サイン	[ズ(₽):	片面/両面(5):
		A4 (21,0 ×	29,7 cm) 💉	片面	*
句き]	×マージン:		Yマージン:	
片面:	両面:	0.66	cm 🔽	0.66	cm 😪
Portrait 💌	Portrait 📉	幅(<u>w</u>):		高さ(日):	
ペラメータ		0.00	cm 👻	0.00	cm 💙
フォーマット名:	シーケンス:				
TELJPN	00010	給紙トレイロ):	排紙トレイ(C	9:
[兌8月:		0		0	
TELJAPAN		音移要女:			
共有フォルダ:		0			
X¥home¥mapping¥	ľ	Couponi	ng project		
					=¥6m/#\\\

- 向き 片面
- <u>パラメーター フォーマット名</u>
- <u>パラメーター シーケンス</u>
- プリンターの設定 ページ・サイズ
- プリンターの設定 片面/両面

Portrait(縦向き) <u>TELJPN</u> 00010 A4 片面

※[フォーマット名]は、SBCS で 10 文字以内、かつ System i 上でユニークになるようにしてください。また説明も、SBCS のみ で記述することをお勧めします。(説明に DBCS は入力できますが、5250 画面から見ると正しく表示されません。)

[シーケンス]は同じフォーマットに対して複数の設定が可能です。例えば、同一スプール・ファイル内で表紙と明細というように複数のレイアウトが必要な場合に有効です。この例ではレイアウトはひとつしか使用しませんのでデフォルトの「00010」を指定します。

その他の項目は任意で設定してください。

4-3-2 オーバーレイの作成

まず、オーバーレイ内に、グラフィカル・オブジェクト(送り先住所用、問合せ先用、顧客情報用、明細内容用の計4つの長方形)を作成します。

1) 4つの長方形と表の作成

ここでは、4つの長方形を作成します。[長方形] アイコンをクリックし、マウスを使用してオーバーレイ上に長方形①を描画します。

注:作業画面は全て[DrawF]タブです。



1	MapDraw	- [- (-	MapDraw)	*]							
	ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	表示⊙	セットアップ	⑤ ツール(T)	ウィンドウ(<u>N</u>)	2				
) 📂 🖬	> 🗎 🕯	1 🕐 🕹	5	I 🛃 🔍	50% 🗸	🔲 🖬 🕍 🤇	1 🔒 📀			
] MS	Gothic		~ 24	▼ B	Ū I ≣		‴x 🗸 🔰	0.76 Y: ().70] ∟ . [2.3	30 н: 0.78	
		1.00	1	ч. Т.	· 2	- 1 - E	. 3	· · · ·	4	1 5	•
~											
		1			-		_				
0		Ĩ					ľ				
0											
		- Ý					- (P				
2											
23		_			_		_				
-											
-1											

① 小さな黒い正方形は、この長方形が選択されていることを示します

長方形のX軸の位置

③ 長方形のY軸の位置

④ 長方形の幅

⑤ 長方形の高さ

長方形の正確なサイズと位置がわかっている場合は、②~⑤に値を入力して設定できます。(このとき、オブジェクトが選択され ていること、つまり対象のオブジェクトの周りに小さな黒い正方形が表示されていることを確認してください)。たとえば、次のように 入力します。単位は cm です。以後特に指定が無い限り長さは cm となります。

②に 1.42 を入力します
③に 4.78 を入力します
④に 7.85 を入力します
⑤に 3.62 を入力します

これで、送り先住所用の長方形が、指定したとおりに表示されます。

2) オブジェクト(長方形)のコピー

2つ目の長方形(問合せ先用)と3つ目の長方形(顧客情報用)と4つ目の長方形(明細内容用)を作成するにあたって、オブ ジェクトのコピーを利用します。最初の長方形を選択し、それをコピー・ペーストします([編集]メニューで [コピー]、[貼り付け]の順 に選択するか、長方形を右クリックして[コピー]、[貼り付け]の順に選択します)。最初の長方形の上に新しい長方形が重ねて 作成されます。2つの長方形が正しく配置されているかどうかをチェックするには、両方の長方形を選択します。それには、最初

の長方形をクリックし、Shift キーを押しながら、2 つ目の長方形をクリックする方法と、[選択] し アイコンをクリックし、2 つの長方形を囲む大きな枠を描画することで 2 つの長方形を選択する方法があります。

同じ操作を繰り返し、3つ目と4つ目の長方形を作成してください。 4つの長方形を作成したら、コピーで作成した長方形 3つの座標に次の値をそれぞれ入力してください。

長方形②(問合せ先用)X:0.86 Y:27.0 L:12.8 H:1.63 長方形③(顧客情報用)X:10.5 Y:5.27 L:9.17 H:3.25 長方形④(明細内容用)X:0.93 Y:9.42 L:19.2 H:17.2

以上の値を入力し、下の図のように長方形が作成されていることを確認してください。





3) オブジェクトの位置合わせ

長方形①と長方形③の2つの長方形を選択したら、右クリックして[位置合わせ]を選び、位置合わせ方向(ここでは[上])を選択します。メニューに[位置合わせ]オプションが表示されていない場合は、複数の長方形を選択していない可能性があります。 正しく複数の長方形が選択されていれば、両方の図形の周りに小さな黒い正方形が表示されます。



F				1.1
Ī,				
•	前面(:移動(<u>B</u>) 背面(:移動(<u>E</u>)	F10 F9	• •	
• 	ペン(P) 塗りつぶし(F) 回転(Q)	Shift+F2 F2		
	関連付け(<u>A</u>) ロック(L) ロック解除(<u>K</u>)			
	位置合わせ	Þ	ページ	
	切り取り(<u>C</u>) コピー(<u>P</u>)	Ctrl+X Ctrl+C	左(L) 右(R)	
	貼り付け(<u>P</u>) 削除(<u>D</u>)	Ctrl+V Del	上(D) 下(B)	
	すべて選択(<u>S</u>)	Ctrl+A	水平中央(出) 垂直中央(小)	
1				

これで、2 つの長方形は上揃えされます。(Y の値は 4.78 に揃います)

4) 表の作成

表の作成には、次の2つの方法があります。1つは[MapWizard] 🚩 を使用する方法、もう1つは手動で表を描画する方法です。ここでは、手動で作成します。

オーバーレイに大きな長方形を描画します。正確な位置とサイズがわかっている場合は、それらの値を入力できます。次に、列と

行を作成したい場所に、短い線(罫線になる)を描画します。水平または垂直の線を描画するには、[線] アイコンをクリックし、 Shift キーを押しながら短い線を描きます。線を選択して、そのサイズと位置の値を入力することもできます。 それでは顧客情報用(長方形③)の表を作成してみます。

下の図のように罫線を引いてください。



①の線の座標 X:13.0
 ②の線の座標 Y:5.62
 ③の線の座標 Y:6.30
 ④の線の座標 Y:6.89
 ⑤の線の座標 Y:7.55

線を引いたら、すべてのオブジェクト(長方形と5本の線)を選択し、<a>キーを押します(必ず小文字で入力してください)。これ で、罫線が引かれ表が作成されます。

なお、[ズーム] マイコンを選択した状態で左側の帳票設計画面の拡大したい場所をマウスで囲むと、その場所が拡大表示されます。

つまり、ここでは長方形③を拡大すると作業がし易くなります。



同様の手順で明細内容用(長方形④)の表を作成します。 以下のように短い線を描画してください。



①の線の座標	Y:10.0
②の線の座標	X:6.08
③の線の座標	X:8.88
④の線の座標	X:11.7
⑤の線の座標	X:14.1
⑥の線の座標	X;16.8

※他の座標や罫線の長さ等については、指定しなくても自動的に罫線が引かれます。

先程の手順と同様に、全てのオブジェクトを選択して、小文字の<a>キーを押します。 これで、2 つ目の表が完成しました。



ここまでの手順で以下の図のようなオーバーレイが作成されます。

5) 網かけの背景の作成(表のヘッダー)

ヘッダーの上に網かけされた長方形を作成して重ねることで、網掛け背景のヘッダーが設定できます。 まずは下図のような長方形を作成します。この長方形は X:0.93、Y:9.42、L:19.2、H:0.60と設定します。





6) オブジェクトを塗りつぶす色の選択

ここでは、ヘッダー行を塗りつぶす色を選択します。

網掛け背景用に作成した長方形に対して、[塗りつぶし] アイコンを選択するか、長方形を右クリックし、メニューから[塗りつぶし]を選択します。オプション([塗りつぶし]または[グラデーション]、[上から下]または[左から右])を選択します。 この例では、[塗りつぶし]、[10%]、および[Shaded]を選択します。

塗りつぶす色	×
○なし	
● 2270 55U 10 %	
 ○ グラデーション 開始色: 終了色: 10 % ● 上から下 	
○ 左から右 ○ 広から右	

これで、長方形に網かけが設定されます。

これを最初の行にぴったり重ねて置くには、正確な位置を入力するか、長方形を表に位置合わせします([位置合わせ]を選択してから、[左]または[右]を選択します)。

注意: 複数のオブジェクトを上揃えする場合は Y 座標の小さい方のオブジェクトに揃えられます。

これで、表の列のヘッダーに網かけが設定されました。



網掛けした表のヘッダーを選択し、右クリック・メニューから[背面に移動]を選択します。

以上で、表の設計が終わりました。



7) 複数のオブジェクトの関連付け

表の各要素をお互いに関連付けて、1 つの大きなオブジェクトとして扱うことができます。これを行うには、すべてのオブジェクトを 選択し、右クリック・メニューで[関連付け]をクリックします。

これで、オーバーレイのグラフィカル・オブジェクトが以下のように正しく配置されます。



次のステップでは、ロゴとテキスト・ゾーン(表のヘッダー、「請求明細書」という文字列など)を挿入します。



8) ロゴの挿入

ロゴを挿入するには、[イメージ] アイコンをクリックし、ロゴを挿入する場所に枠を描画します。[ファイルを開く]ダイアログ・ボックスで、ロゴとして使用するイメージ・ファイル(.BMP、JPG、または TIF)を選択し、「開く」をクリックします。

ファイルを開く					? 🛛
ファイルの場所型:	🗁 docpc		🖌 🖸	۳ 对	
していたファイル	Manko.JPG				
ごう デスクトップ					
ک ۲۲ ۴キ۱۷ン۲					
אר דר בארב א					
マイ ネットワーク	ファイル名(<u>N</u>):	hanko.JPG		~	
	ファイルの種類(工):	JPEG (*.jpg)		~	キャンセル

下図のような「元の比率を維持しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「はい」をクリックすると、ロゴの元の比率は変更 されません。「いいえ」をクリックすると、ロゴは変形して表示される可能性があります。この状況が発生した場合は、右クリック・メ ニューで[元の比率]を選択すると、元の比率に戻すことができます。



		(1	第二会社]	

1のロゴの座標

X:15.2 Y:1.97

次はテキスト・ゾーンの挿入です。



9) テキスト・ゾーンの作成

テキスト・ゾーンを作成するには、[テキスト・ゾーン] 🎦 アイコンを使用するか、右側のスプール・ファイルから希望するテキストを 選択し、それをオーバーレイにドラッグ・アンド・ドロップします。

ここでは、例としてスプール・ファイルの「〒」をテキスト・ゾーンとして取り込んでみます。



①の説明:フォントの種類
 ②の説明:フォントの大きさ
 ③の説明:選択されたスプール・ファイルのテキスト

新しいテキスト・ゾーンのプロパティは、最後に編集されたゾーンのプロパティ(フォント、サイズ、色など)と同じになります。プロパティ を変更するには、テキスト・ツール・バーを使用してください。 下図のように、スプール・ファイルから他のゾーンも作成してください。



①のスプール・ファイルでの位置行:6列:8「〒」
 ②のスプール・ファイルでの位置行:9列:72「年」
 ③のスプール・ファイルでの位置行:9列:78「月」
 ④のスプール・ファイルでの位置行:10列:72「円」
 ⑤のスプール・ファイルでの位置行:12列:38「様」



10) フォントおよびフォント・サイズの変更

テキスト・ゾーンのフォントおよびサイズを変更するには、<Ctrl>キーを押しながら<矢印>キーを押します(<上矢印>および<下矢 印>キーはフォントの変更、<左矢印>および<右矢印>キーはフォント・サイズの変更です)。こうすると、直ちに変更を確認できま す(実際には、フォントのリストを上下にスクロールする必要があります)。 テキスト・ゾーンには、1 行以上の行を含めることができます。

次に以下の図のようにテキスト・ゾーンに直接、文字列を入力してください。

(見出し「テルジャパン請求明細書」、自社情報「社名」「住所等」、顧客情報「お客様番号」~「口座番号」迄、明細の見出 し「通話開始日時」~「種別」迄、問合せ先情報)

なお、テキスト・ゾーンを選択した状態で「F7」を押下すると、テキストの編集を行うことができます。





11) グラフィカル・オブジェクトとテキスト・ゾーンの位置合わせ

テキスト・ゾーン同士、またはテキスト・ゾーンと他のオブジェクトとの位置合わせをすることができます。 2 つ以上のテキスト・ゾーンまたは他のオブジェクトを選択し、右クリック・メニューで[位置合わせ]→[水平中央] をクリックします。 すべてのテキスト・ゾーンを作成したら、オーバーレイは作成完了です。

12) オーバーレイの出力

オーバーレイのみを出力する場合は、[ファイル] メニューの [エクスポート]→[プリンター]を選択します。

4-3-3 スプールデータのマッピング

[MapF]タブをクリックします。 オーバーレイはぼかし表示になり、変更することはできなくなります。

1) 固定ゾーンの作成

マッピングでは、固定のゾーン、グループ、およびそれらのグループに属するゾーンを使用します。

- 固定ゾーンは、オーバーレイ上のスプール・ファイルから単一行の要素(お客様番号、口座番号、金融機関名、日付など)を出力するのに使用されます。
- 一方、グループ、またはグループ内の1つ以上のゾーンは、複数行の要素(住所、請求書の本文など)を出力するのに使用されます。

まず、固定ゾーンについて見てみましょう。ここでは、お客様番号、ご請求月、ご請求額、金融機関名、および口座番号を出力

するための固定ゾーンを追加します。[ゾーン] アイコンをクリックするか、または、スプール・ファイル内のゾーン値を選択し、それをオーバーレイにドラッグ・アンド・ドロップします。最初に、お客様番号のゾーンを作成します。





ゾーンを作成するとき、[ゾーンのプロパティ]ダイアログ・ボックスが表示されます。必要な情報を入力します。

ゾーンのプロパティ				
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント ゾーン名(2): ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タイプ(T): 「テキスト 標準 ゾーン条件(Z)		晋羊布田	
	ОК) キャンセル	適用(<u>A</u>)	~JU7

ゾーン名に名前を入力します。

ゾーン名は SBCS で 10 文字以内で任意な名前を指定できます。(後でプロパティの変更が必要になったときに、該当するゾーンを簡単に見つけられるよう、特定しやすい名前を指定することをお勧めします。)

データ位置は自動的に設定されます。ファイル・ゾーンを正しく選択している場合は、位置の値を変更しないでください。

注:ドラッグ・アンド・ドロップを使用してゾーンを作成する場合は、選択したゾーンの長さが十分であることを確認してください。デ ータはスプール・ファイルごとに異なる可能性があるため、場合によっては、はみ出すこともあります。したがって、各文字列に対し て可能な最大長を指定することをお勧めします。

ゾーンのタイプは「テキスト」です(値はバーコードではないので、ここでは変換は行いません)。 また、ラベルの下に追加する文字はないので、「ゾーンの後に追加する文字」フィールドはブランクのままにします。

[フォントとスタイル]タブで、ゾーンの印刷スタイル(フォント、サイズ、配置、イタリックなど)を変更し、[条件]タブで、このゾーンを 実行するための条件を追加できます。ここでは、このオーバーレイにマッピングされたすべてのスプール・ファイルの値に対してこのゾ ーンを出力するので、条件を設定する必要はありません。

同じ手順を繰り返して、下図のように口座番号、金融機関名、ご請求月、顧客氏名などの他の固定ゾーンを作成します。

これらの設定後に「プレビュー」「シーアイコンをクリックすると以下のように表示されます。

社シ

Т	350-0055	

中田 和子 様

お客様番号	C0564009023
ご請求月	16年01月
ご請求額	16,750円
金融機関名	わかば銀行 新鳩ヶ谷支店
口座番号	普通 1693491

次は実際の帳票の下部に、お客様番号のバーコードを追加します。



2) バーコードの追加

※バーコード・フォントがご利用のPCに存在しない場合には、PC にインストールする必要があります。インストール手順は巻末の「補足 バーコード・フォントのインストール方法」を参照してください。

バーコードを追加するには、まず標準の固定ゾーンを作成します。 この例ではお客様番号をバーコードで表示します。

1			I	II	
÷.					
	お問合せ先 :	テルジャパンお客様センター	0120-03-0000		-1
	受付時間	月曜日~金曜日(除く祝祭日)	9:00~18:00		
Į,					

[ゾーンのプロパティ] ダイアログ・ボックスの [タイプ] で、「バーコード」を選択します。

ゾーンのプロパティ		<
ゾーンのプロパティ データ位置 フォントとスタイル メーン名②: EARCODE データ位置 開始行: 8 列: 長さ(L): 64 リーンの後に追加する文字:	タイプ(①): バーコード CODE39 ソーン条件(2) 詳細	
	OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	

次に、バーコードのタイプを選択します。ご使用のバーコード・スキャン・システムに応じて適切なものを選んでください。この例では、 Code-39 を選択します。

ここで、Code-39 でバーコードを印刷するためのフォントを変更します。[フォントとスタイル]タブで、適切なフォントを選択します。 フォント名が強調表示されます。バーコード・フォントを表示するには、「B」と入力し、下矢印キーを押します。Code-39 のバーコ ードを印刷するのに使用される BC39 フォントが表示されるまで、ドロップダウン・メニューを下にスクロールします。 インストール CD-ROM には、BC39 で始まるフォントが 2 つあります (BC39 と BC39L)。BC39 では、バーコードの下に変換され た値を追加せずに、選択した値をバーコードに変換します。BC39L では、バーコードの下に変換された値が追加されます。

この例では下図のように[フォント名]に「BC39L」、[サイズ]に「29」を設定します。



ゾーンのプロパティ			×
データ位置 フォントとスタイル 条件 コ フォント名(E): BC39L ♥ サイズ: 29 横位置(A) 左 ♥ 向き(Q): 0° ♥	メント プレビュー: フォント フォント (本字(B) (本字(B)) (本)) (*))		
		OK キャンセル 適用(<u>A</u>) ヘルプ	



それでは、その他のデータ(「請求書住所」ブロックと「請求書明細」ブロック)をマッピングしていきましょう。



3) グループの作成

グループをマッピングするには、グループと、それらのグループにリンクされたゾーンを作成する必要があります。ゾーンが指定されて いないグループを作成しても、何も出力されません。 それでは、「請求先住所」のグループを作成してみましょう。

まず、請求先住所ブロックに対応するグループを作成します。[固定グループ] G アイコンを使用するか、スプール・ファイルから 行のグループをオーバーレイ上にドラッグ・アンド・ドロップします。

配置場所に関しては下図の赤い枠を参考にしてください。データはスプール・ファイルごとに異なる可能性があるため、各文字列 に対して最大長を指定するようにしてください。

固定グループ					
新規グループ実行コメント					
ヴループ名: <mark>address</mark>	☑ 排他的な条件				
開始行(5): 終了行(E): 8 10					
グループの上部から計測した最初の行の印刷位	置:				
0.42 cm 💌					
		ОК	キャンセル	適用(A)	~,IL7

[開始行] および [終了行] の値は、グループがオーバーレイ上にドロップされたときに、自動的に初期化されます。デフォルトでは、 このグループ用の条件を使用し、最初の行はグループの上部から 0.42 cm のところ(マッピング内の赤い実線)に印刷されます。こ の例では、条件の設定は行いません。グループは、すべてのスプール・ファイルに実行されます。

グループの物理的サイズは、印刷に関する限り問題になりません。どのようなサイズであっても、印刷される文字は、グループおよびゾーンのプロパティで設定された値に依存します。

	お客様番号 CUSTNO	-		奇玉	県 パ 1 7	ケ谷市 92-
	ご請求月 🎦 🕫 🕅 月			。 ケ	谷木	ームズ
address (0)	ご請求額 AMOUNT P	_	_	L		_
NAME tá	金融機関名 BANKNAME BRAN	<u>IC</u>		ΡШ	村	f
		-	-			

注: グループを作成しただけでは、データは出力されません。少なくとも1つのゾーンをグループに関連付ける必要があります。 「請求先住所」グループには、1つのゾーンがあれば十分です。

ゾーンは、(これから設定する文字の数に応じて)8行目から10行目まで実行されます。

固定ゾーンと同様、ドラッグ・アンド・ドロップまたは[ゾーン] アイコンのいずれかの方法を使用して、ゾーンを作成できます。ドラッグ・アンド・ドロップで作成する場合は、1 行だけ選択してください。複数行を選択すると、グループが作成されてしまいます。

注: ゾーンは、関連付けるグループの内部で移動するようにしてください。



ゾーンのプロパティ				×
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント				-
ゾーン名(Z): ADDB				
データ位置	タイプ(①:			
	नम्रा 💌			
	標準 💌			
列: 長さ(L):	ゾーン条件(乙)	Y シフト(<u>S</u>):		
	なし 💌	0.00	cm 👻	
			言羊糸田	
ゾーンの後に追加する文字:				
		- 15		
		الإصليد لأمه سلم		
		49701		

「ゾーンのプロパティ」ダイアログ・ボックスで、ゾーンの処理のための水平方向の値である [列] と [長さ] (列または文字) を変更 できます。

ここでは、条件を作成していないので、「ゾーン条件」 ドロップダウン メニューの選択肢は「なし」 だけです。 条件が何もないので、ゾーンは 3 回実行されます(行 8、列 8 から、長さ 20)。 このゾーンに何も条件を適用しない場合は、同じ方法を使用して次のグループを作成できます。 ただし、たとえば、一部文字列を太字で表示するなど、住所ブロックの特定の部分を異なるスタイルまたはフォントで印刷したい 場合は、条件を設定する必要があります。

後で、ゾーンの属性を変更するには、「F5」キーを押すか、右クリック・メニューで [プロパティ]を選択します。

		- 1		埼	玉	県	鳩	ケ	谷	市
	の各体留ち CUSINU			新	- 11	1	7	9	2	-
ADDR /0 - なし	ご請求月 🎦 🛱 🕅 月	Ξ	F	九鳥	、 ケ	谷	朩	_	Ā	ズ
	ご請求額 AMOUNT P									
	金融機関名 BANKNAME BRA	NC		 ф	Ħ		和	子		
NAME 様	口座番号 [SYUBE] NO]								
	L									



		T NUBINI	テ) - 11.	ルジャノ		大日月;)ジ-0001 都中央 検索号 東月		え 社 総部 中町 ジ NO	19-21	
NAME ① 座 器 号 通話 開 胎 日 時 通話時間 電話書号 通話:		address			金融	機関名	BANKN	ANE B	RANCHNANE	
通話 同		NAME		様	口座	중국	SYUBE	NO		
	通	括同治	8 84	酒話時間	電話客号	通話地	. 191	通話料	811.84	
8 国合せ先 : テルジャパンお客様 センター ロ12 ローロ3 ー	B	国会せ先 :	テルジャパ	これ客様をつう	- 0120-	· B 8 - D				

これで、「請求先住所」ブロックの作業は完了しました。 次に、「請求書明細」のグループを作成します。



4)「請求書明細」のグループ

請求書明細用のグループを作成し、グループの最大行数を選択します。オーバーレイの表に対してサイズを調整します。ここでは、16 行目 から 50 行目 までになっています。

固定グループ		
新規グループ 実行 コメント		
グループ名 : detail	☑ 排他的な条件	
開始行(S): 終了行(E): 16 50		
グループの上部から計測した最初の行の印刷位	置:	
Un V		

まず、「開始日」ゾーンを、列6から長さ11で作成します。次に、「開始時間」ゾーンを、列19から長さ8で作成します。

同様に、「通話時間」ゾーンを、列 30 から長さ 8 「電話番号」ゾーンを、列 41 から長さ 12 「通話地域」ゾーンを、列 56 から長さ 6 「通話料」ゾーンを、列 66 から長さ 8、右揃え 「種別」ゾーンを、列 77 から長さ 8

で作成します。

下記は「開始日」ゾーンの設定例です。

ゾーンのプロパティ				×
ゾーンのプロパティ データ位置 ゾーン名②: ブーシーン名②: ブーシーンの位置 ブーシの位置 グリ: 6 11 ゾーンの後に追加する文字:	タイプ(I): 「テキスト ・ 標準 ・ ソーン条件(Z) なし ・	Y シフト(S): 0.00	Cm V E¥細	
	ОК	キャンセル) 適用(<u>A)</u>	~JV7

右揃えにするには、まず「ゾーンのプロパティ」を開き[フォントとスタイル]タブをクリックします。[横位置]の項目を「右」に変更してください。これで右揃えになります。



すべてのゾーンを作成したら、請求書の本文全体が出力できるようになります。

以下が完成図です。

– 1	JEIN	7	ルジャ	パン請 ^季	求明新 103-000 京都中央 客様番号		大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	19-21
KUU	<u>K 70 -</u>	なし			請求胡		× au ⊓ NNOUNT ⊫	1
addess.	.00				剧接關名	BAN	KNANE BE	
NAN	IE		様		座番号	SYU	BEI NO	
1 話	開始	日時	通話時間	電話番号	通話》	乱線	通話料	種別
ÆI /I – 1	Ð	- til.	0E3 /1 -	DF4 /1 - 22	DF5	71	- 226	057 /1 3
stal I.A.							-	
日合せき	: 5	モルジャパ	ンお客様センタ	- B12B	— B 8 — D	6 6 6	•	

5. プロジェクトの保存と MapDraw フォーマットの生成

ここでは、帳票設計結果をプロジェクトという形で PC に保管して、更に System i に送信します。

なお、PC に保管したプロジェクトは[プロジェクトを開く] 🖾 アイコンで開くことができます。ここまでは新規プロジェクトの作成手順

を説明してきましたが、既存のプロジェクトの編集をする場合には[プロジェクトを開く] 🗁 アイコンをクリックして該当プロジェクトを 選択してください。

MapDraw フォーマットの生成は、出力先が PCL か PDF によって手順が異なります。 PCL 出力の場合は「5-1 PCL 出力と PDF 出力に共通の生成作業」のみですが、PDF 出力の場合は続けて「5-2 PDF の生成について」を行ってください。



5-1 PCL 出力とPDF 出力に共通の生成作業

[MapF]が選択された状態でツール・バーの最下段の[プロジェクトを生成する] Pイコンをクリックすると、「プロジェクトの保存」画面が表示されます。

ジェクトの保存		E
プロジェクト名: X:\home\mapping\D0CPC\demo5	(.mpp)	ОК ++>>セル
<i>オー</i> パーレイ		
表面: X:\home\mapping\D0CPC\demo5	(.mpw)	
X:\home\mapping\D0CPC\demo5Back	(.mpw)	
Mapping		
「「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」」「」「」」「」」「」」「」」」「」」」「」」」」		
X:\home\mapping\D0CPC\demo5	(.mpi)	
表面:		
X:\home\mapping\D0CPC\demo5Back	(.mpi)	

プロジェクトは3つのファイルで構成されています。

- .MPW という拡張子のファイルは、オーバーレイです。
- .MPIという拡張子のファイルは、関連付けられたマッピングです。
- .MPP という拡張子のファイルは、プロジェクト・ファイルで、.MPW および .MPI ファイルをリンクしています。

初めて保存するときは、ファイル名を入力する必要があります(今回は「demo5」としました)。 [プロジェクト名] の下にファイル名 を入力すると、MPW および MPI ファイルには自動的に同じ名前が付けられます。

3 つのファイルは、同じ名前を付けて同じディレクトリーに保存する必要があります。

「OK」をクリックして保存します。「生成の設定」という新しいウィンドウが表示されます。

生成の設定		
ー印刷のセットアップ 言語:	PCL5 Optimized V PCL5e	ОК ++>>セル
モード:	 ● モノクロ ○ 坊 ~ 	
解像度:	300 dpi 💌	
生成オプション マオーバー マフォント	И	
Mapping名: Mappingシーケン 説明: 共有フォルダ:	DEMO x: 00010 132*66 A4 Landscape X:\home\mapping\	

[言語]で「PCL5 Optimized」を選択します。



[モード]でカラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

[生成オプション] で [オーバーレイ] と [フォント] のチェックを外して、それらを Mapping サーバーに送信しないように選択できます。 この場合、プロジェクトの生成がより高速になります。ただし、オーバーレイ、およびオーバーレイとマッピングで使用されているフォン トをまだ生成していない場合、少なくとも 1 回は生成する必要があります。さらに、オーバーレイとフォントの両方、またはいずれ か一方を変更した場合は、それらを再度生成しなければなりません。

ウィンドウの下部に、マッピングの主な属性のサマリーが表示されます。

「OK」をクリックして確定します。これで、Mapping サーバーにマッピングが送信され、生成されます。

下記の生成レポートのタイプが ① (正常)または ① (警告)の場合は正常に生成されています。 ━ (エラー)があった場合にはエラーの原因を取り除いて再度生成作業を行ってください。

生成レス	#半F
217	X92−9
0	プロジェクトを生成していますX:\home\mapping\DOCPC\demo5.mpp
	ОК

上図の生成完了のメッセージは、ファイルが正常に生成されたことを示しています。 「OK」をクリックします。

PCL 出力の場合は、以上で MapDraw での操作は完了となります。 次は System i インターフェースに切り替えて、作成したフォーマットを取り込みます。(「6. MapDraw フォーマットの取込み」)

PDF 出力の場合は引き続き以降の作業(「5-2 PDF の生成について」)を行ってください。

5-2 PDF の生成について

PDF ファイルを生成するためには、プロジェクトの関連付けという操作が必要となります。

[ファイル] メニューで、[プロジェクトの関連付け]→[新規]の順に選択します。





次のダイアログ・ボックスが表示されます。

プロジェクトの関連付け			
使用可能なプロジェクト: std132a4.mpp kenjo\ean128_1.mpp kenjo\ean128_1.mpp kenjo\ean128_2.mpp kenjo\Ean128PC_mpp kenjo\Ean128PC_mpp kenjo\FAXSEND.mpp kenjo\PDP132A4.mpp kenjo\PDF132A4.mpp kenjo\FDF132A4.mpp kenjo\STD132A4.mpp kenjo\STD132A4.mpp kenjo\STD132A4.mpp kenjo\STD138A4.mpp kenjo\STD138A4.mpp kenjo\TELJPN_PCL.mpp kenjo\TELJPN_PDF.mpp sakakura\graphbar.mpp	<	関連付けられたプロジェクト: demo5.mpp	上書き保存 開く 生成 開じる

関連付けるプロジェクト・ファイル(.MPP ファイル)を選択します。該当のプロジェクト・ファイルを選択して「>」ボタンをクリックすると 上図のようになります。

この例では「demo5.mpp」を選択しています。

複数のシーケンスを持つフォーマットの場合には該当のプロジェクトを全て選択してください。

選択したプロジェクトに対して初めて関連付けを行う場合は「生成」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」画面が表示されますので名称を入力して保存してください。保存場所は他の3つのプロジェクト・ファイル(.MPW、.MPI、.MPP)と同じにします。 関連は.MPA ファイルとして保存されます。



名前を付けて保存								?×
保存する場所①:	C DOCPC		~	G	1 🖻	•		
は し し し し し し し し し し し し し	 ▶ kenjo ▶ morinaga ▶ sakakura ▶ ean128.mpa ▶ ean128_1.mpa ▶ ean128_2.mpa ▶ ean128pp.mpa ▶ p2010m2.mpa 							
マイ ネットワーク	レ ファイル名(N): フェイルの話話(T):	demo5.mpa				~	保存	<u>∓©</u>
	ファイルの種類(工):	MappingAssociation (*.mpa)				*	++	ルル

ここでは「demo5.mpa」としました。

ファイルが保存されると「生成の設定」画面が表示されますので、生成言語を PDF にして「OK」 をクリックします。

生成の設定	X
印刷のセットアップ 言語: PDF	ОК +17211
モード: ③ モノカロ つ 坊 ー	
解像度: 300 dpi ▼	
生成オプション ▼オーパーレイ ▼コンボーネントを生成する ■フォント	
生成するプロジェクトのリスト:demo5.mpp	

「プロジェクトの保存」画面が表示されますので「OK」をクリックします。



(.mpp)	
	キャンセル
(.mpw)	
(.mpw)	
(.mpi)	
	(.mpw)

下図のような生成レポートが表示されればプロジェクトの関連付けは完了です。

<u>E成レ</u> オ	R-F	
タイプ	メッセージ	
0	プロジェクトを生成していますX:\home\mapping\DOCPC\demo5.mpp プロジェクトの概念言語が生成言語と異なります。	
<		ОК

これで、プロジェクトの関連付けによる PDF を出力するためのフォーマットの生成が終了しました。

なお、新規の関連付けでない場合は、[ファイル] メニューで、[プロジェクトの関連付け]→[生成]を選択して該当の.MPA ファイ ルを選択してください。すると「生成の設定」画面が表示されますので、新規の場合と同様に生成を行ってください。

次は System i インターフェースに切り替えて、作成したフォーマットを取り込みます。

6. MapDraw フォーマットの取込み

System i のコマンド行で「GO MAPPING 」とタイプします。Mapping メニューが表示されます。 ※GO MAPPING を実行する前に、ライブラリー・リストに「MAP400」が登録されている必要があります。ADDLIBLE コマンドまた は EDTLIBL コマンドで追加してください。



<mark>ひ]</mark> セッション C [24 x 80]	
7ァイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウインドウ(W) ヘルプ(H)	
MAPPING Mappingメニュー 次の1つを選択してください。	
1. スブール・ファイルの処理 2. MapDraw フォーマットの取込み 3. Mapping フォーマットの処理 4. Mapping 資源の処理	
12. 通貨の変換の処理(ヨーロッパ圏のみで使用) 13. MapOut バスワードの処理 14. オペレーション・メニュー 15. Mapping コマンドの表示	
選択項目またはコマンド ===>	
F3= 終了 F4= プロンブト F9= コマンドの複写 F12= キャンセル	
MÊ c MW 英数 半角	21/007

System i の Mapping メニューで、オプション「2. MapDraw フォーマットの取込み」を選択します。

フォーマット DEMO は System i に送信済みになっているはずです。これは、〈名前〉〈シーケンス番号〉.spt というファイル名になるので、ここでは、「DEMO00010.spt」というファイルがあるはずです。

9 <mark>1</mark> セッション C [24 × 80]			
ファイル(Ε) 編集(Ε) 表示(⊻) 辶	●信(C) アクション(A) ウィントやくW) ヘルフ°(H)	-	
MAPD014 MA	PPING オブジェクトの取込み	MORINAGA	CARME
1= 取り込み 4= 削除	5= 表示	10703720	17.07.30
オブジェクト名	タイプ 記述		
DEM000010	spt 132*66 A4 Landscape	28/09/2010	17:09:08
			終わり
F1= N/J7° F3= 終了	F5= 最新表示	F18= 最後	
MA c	™ 英数 半角		07/002

フォーマットの前に「1」を入力し、Enter キーを押します。

インポートの確認を求めるプロンプトが表示されます。



ອ <mark>.</mark> セッション C [24 x 80]				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通(፤(<u>C</u>)	vルフ°(<u>H</u>)		
MAPD014 MAPH	PING オブジェクトの取込	へみ	MORINAGA	CARME
-			MORINAGA	
取込/	削除		CARME	
1 作成処理			10/09/28	
破空するには実得も	ニ た畑レアノださい		17:08:07	
唯化りつには天行す	2140 C \1206 '.			
47 S. S. A.				
オノ ン エクト	DEMUUUUIU	spt		
記述	132*66 A4 Landscape			
	F3= 終了	F12= キャンヤル		
MH C	™ 英数 半角			03/004

もう一度 Enter キーを押します。これにより System i 形式でインポートされます。 取り込んだフォーマットは、Mapping メニューのオプション「3. Mapping フォーマットの処理」で確認できます。



第4章 - Mapping 処理の実行

1. MAPCPYSPLF コマンド

MAPCPYSPLF コマンドを利用してマッピング処理を行います。MAPCPYSPLF コマンドは以下のようなパラメーターを指定して実行されます。

System i のコマンド行で「MAPCPYSPLF」とタイプし F4 キーを押下します。

画面 1

ອ <mark>]</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウイントウ(W) ヘルア(H) Apply Mapping Format to speed	(MADODVSDLE)
選択項目を入力して、実行キーを押してください。 Spooled file	Name
Job Name	Name, *CURRENT , *DEV 000000-9999999 Name
Mapping format Sequence Processing mode	Character value,10 max. *ALL *MRG 00000-99999 P=Print D=mapping+Mapout 0=Map
Output queue	Name ,*DEV, *JOB Name, *LIBL Y, N
Release new spooled file Y Form type Y Save new spooled file Y Land new spooled file Y	Y, N Name, *STD, *SPL Y, N V N
Load over all S	T, N Y, N 続く
F3- #<) F12- 取り消し F13- 取利表示 F10- 追/ F12= 取り消し F13= この画面の使用法	JUOハフスーター F24= キーの続き
™ <mark>」</mark> c MW 英数 半角	05/037

コマンドを正しく実行するために、最初の5つの必須パラメーターを指定します。 これらのパラメーターはマッピングするスプール・ファイルをユニークに識別するために使用されます。

Spooled file Spooled file number Job Name Job number						<u>*LAST</u> *CURRENT	Name *LAST *ONLY 00000-99999 Name, *CURRENT, *DEV 000000-999999
Job number	•	• •	•	•	•		000000-9999999
User	•	• •	•	•	•	<u>*CURRENT</u>	Name

<u>Spooled file (SPLF)</u> <u>Spooled file number (SPLNUM)</u> <u>Job Name (JOB)</u> <u>Job number (JOBNUM)</u> <u>User (USER)</u> スプール・ファイル名 スプール・ファイル番号 スプール・ジョブ名 スプール・ジョブ番号 スプール・ユーザー

次に、スプール・ファイルに適用されるフォーマット名とシーケンスを指定します。 「Sequence」フィールドには、明示的な番号(例えば 00010)、*ALL または *MRG を入力できます。 この後者の 2 つは複数シーケンス環境で使用されます。



Mapping format	 Character value	,10 max.
Sequence	 *ALL *MRG	00000-999999

Mapping format (MAPNAM) Sequence (MAPSEQ)

マッピング・フォーマット名 マッピング・フォーマット・シーケンス番号

複数シーケンス環境の例 1: *MRG を使用する例

例えば、最初のページは請求書の表紙、それ以降のページは請求書の明細、というような2つの異なるレイアウトのページを持 つ n ページのスプール・ファイルがあるとします。

このスプール・ファイルに対して Mapping 処理を実行するために、MapDraw で各レイアウトに対応した次の2つのプロジェクトを 作成しておきます。2 つのプロジェクトをリンクするには、フォーマット名を同じにして別々のシーケンス番号を付けます。この例では 以下のようにします。

1.	表紙用プロジェクト	フォーマット名 : INVOICE	シーケンス:00010
2.	明細用プロジェクト	フォーマット名 : INVOICE	シーケンス:00020

スプール・ファイルの表紙には表紙用フォーマット、明細には明細用フォーマットを使用して Mapping 処理を実行するためには、 MAPCPYSPLF コマンドのシーケンスパラメーターで*MRG を選択します。

*MRG は MapDraw で設定された条件に従って、スプール・ファイルのページ単位でフォーマットを切り替えて適用するので、出力 結果は以下のようになります。

	表紙	明細	明細	•••	明細
使用する フォーマット/シーケンス	INVOICE/00010	INVOICE/00020	INVOICE/00020		INVOICE/00020

3

...

n

スプール・ファイル ページ

<u>複数シーケンス環境の例 2: *ALL を使用する例</u>

1

例えば、1 枚目:納品書、2 枚目:納品書控え、3 枚目:受領書控え、4 枚目:領収書、というような4 枚複写の複写伝票が あるとします。この複写伝票を Mapping を使用してカット紙化するとします。

複写伝票のカット紙化を Mapping で実現するために、MapDraw で各レイアウトに対応した次の4つのプロジェクトを作成してお きます。4 つのプロジェクトをリンクするには、フォーマット名を同じにして別々のシーケンス番号を付けます。この例では以下のよう にします。

1.	納品書用プロジェクト	フォーマット名 : FUKUSYA	シーケンス:00010
2.	納品書控え用プロジェクト	フォーマット名:FUKUSYA	シーケンス:00020
3.	受領書控え用プロジェクト	フォーマット名:FUKUSYA	シーケンス:00030
4.	領収書用プロジェクト	フォーマット名 : FUKUSYA	シーケンス:00040

2

スプール・ファイルの各ページに対して全フォーマットを使用して Mapping 処理を実行するためには、MAPCPYSPLF コマンドのシ ーケンスパラメーターで*ALL を選択します。

*ALL はひとつのフォーマットをスプール・ファイルの全ページに対して適用する処理を全てのフォーマットで繰り返すので、出力結 果は以下のようになります。1~nページのスプール・ファイルに対して全フォーマットが適用されることがわかります。



使用する フォーマット/シーケンス	FUKUSYA/00010	FUKUSYA/00010	FUKUSYA/00010	 FUKUSYA/00010
スプール・ファイル ページ	1	2	3	 n ←下へ続く
\$				
使用する フォーマット/シーケンス	FUKUSYA/00020	FUKUSYA/00020	FUKUSYA/ <mark>00020</mark>	 FUKUSYA/ <mark>00020</mark>
スプール・ファイル ページ	1	2	3	 n ৵ 下へ続く
\$				
使用する				
フォーマット/シーケンス	FUKUSYA/00030	FUKUSYA/00030	FUKUSYA/00030	 FUKUSYA/00030
スプール・ファイル ページ	1	2	3	 n ⇔下へ続く
↔				
使用する フォーマット/シーケンス	FUKUSYA/00040	FUKUSYA/00040	FUKUSYA/ <mark>00040</mark>	 FUKUSYA/ <mark>00040</mark>
スプール・ファイル ページ	1	2	3	 n

Page 66 of 86



<u>残りの主な印刷パラメーター:</u>

Processing mode (MAPMOD)	処理モード:
	「P」は印刷のみ、「D」は印刷後にアーカイブ、「O」はアーカイブのみ
<i>Output queue/library (OUTQ)</i>	出力待ち行列/出力待ち行列のライブラリー名:
	マッピング後のスプール・ファイルが出力される出力待ち行列とライブラリーを指定
	します。
Delete file (DEL)	スプール・ファイルの削除:
	「N」はコマンドの実行後に元のスプール・ファイルを削除しません。
	「Y」は削除します。
Release new spooled file (RDY)	新しいスプール・ファイルのリリース:
<u>.</u>	「Y」はマッピング後のスプール・ファイルを RDY にします。
	「N」はマッピング後のスプール・ファイルを HLD にします。
Form type (FORMTYPE)	用紙タイプ:
	用紙タイプ名を指定するか、またはデフォルトを使用します。用紙タイプを指定す
	る場合は、その用紙をプリンターにセットするようプロンプトが出されます。
Save new spooled file (MAPSAV)	新しいスプール・ファイルの保管:
	「Y」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。
	(この場合、マッピングされたファイルを再生成しなくても直接再印刷できます。)
	「N」はマッピング後のスプール・ファイルを保存しません。
Load overlays (SNDFDP)	オーバーレイのロード:
<u> </u>	「Y」はスプール・ファイル・データと同時にオーバーレイ・データ・ストリームをプリンタ
	ーへ送信します。
	「N」は送信しません。
Load fonts (SNDPOL)	フォントのロード:
	「Y」はスプール・ファイル・データと同時にフォント・データ・ストリームをプリンターへ
	送信します。
	「N」は送信しません。

<u>画面 2</u>

<mark>8.</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(W) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
Apply Mapping Format to spoole (MAPCPYSPLF) 選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
Save spooled file resourcesY, NStart pageInteger, *SPLEnd page999999Integer, *SPLInteger, *SPL, *LASTCopiesInteger, *SPLNb of pagesInteger, *SPL, *MAPSource drawerInteger, *SPL, *MAPOutput DrawerInteger, *SPL, *MAPPJL Command BeforeInteger, *SPL, *MAPPJL Command AfterName, *MAPPage width*SPLPage length*SPLPrinter language*SPLXPS Printer language*NONE'*NONE'*NONE, *PCL	*DATMAX.
^糸 F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	売く
MB c MW 英数 半角	05/037



Save spooled file resources (POLSAV)	オーバーレイとフォントの保存:
	現在は使用されていません。
Start/End page (PAGSTR/PAGEND)	マッピンク開始ヘーン/マッピンク終」ヘーン:
	必要な場合は、イッビンク開始ヘーンと終了ヘーンを指定できます。
<u>Copies (NBCOPY)</u>	
	」Eー部数、または人ノール・ノバイル周性(*SPL の場合)を指定しまり。
	この結果、ハーントからハーンnまじを印刷した後、円のハーントからハーンn
	を引加りるという順になります。 ペーン『米ケー
IND OF PAGES (INBEXEM)	
	合ヘーンをn部9 J印刷しよ9 (ヘーン I をn回印刷し、次にヘーン Z をn回
	印刷9 るなど)。 指定9 る場合は、オペレーンヨン・メニューのオフンヨン 14. 田川 またに回の部ウェのパニューター にへんせて ※ 亜がたります
	付ら竹列の設定」のハフメーターと合わせる必要がめりより
Source Drawer (INPUTBIN)	
	使用される結紙トレイの PCL コートを入力するか、人ノール・ノアイル属性の値
	(*SPL 値) を使用するか、または オヘレーンヨン・メニューのオフンヨン・14. 出力
	何ら17列の設定」(で正義しに値(*MAP 値)を使用しま9。
Output Drawer (OUTPUTBIN)	
	使用される排紙トレイの PCL コートを入力するか、人ノール・ノアイル属性の値
	(*SPL 値) を使用するか、または オヘレーション・メニューのオノションオノション
	「14. 出刀待ら行列の設定」の値 (*MAP 値) を使用します。
PJL Command Before (PJLBEFORE)	
	印刷則に美行される PJL ソーケン人を挿入しより。
	オペレーション・メニューのオノンョンオノンョン14. 出刀待ら行列の設定」(ご定義
	する値 (*MAP 値) と一緒に使用してくたさい。
PJL Command After (PJLAFTER)	PJL Jマント(After):
	印刷後に美行される PJL ソーケン人を挿入します。
	オペレーンヨン・メニューのオノンヨンオノンヨン14. 出刀待ら行列の設定」で定義
	9 る10(*MAP 10)と一緒に使用してくたさい。 コプール ファイルのペーン#5
Page width (RECLEN)	人ノール・ノアイルのヘーン幅:
	マッピンク後の人ノール・ノアイルの竹釵。 土に AFP 人ノール・ノアイルをマッピンク
	9 る场台に使用されよ9。その他の场台は、テノオルト値のよまにしてくたさい。 コプール ファイルのペーンドラ
Page length (OVRFLW)	人ノール・ノアイルのヘーン長:
	マッピンク後の人ノール・ノアイルの行致。主にAFP 人ノール・ノアイルをマッピンク
	する場合に使用されます。その他の場合は、テノオルト値のままにしてくたさい。
Printer language (TYPLAN)	ノリノダー言語: プリンターボコンピンバキャナコプール コーノルを立たすて吹みご トマンキーショー
	ノリノダールマッピノリされに入ノール・ノアイルを文信9る除のナーダ形式。王にフ
	ヘルノリンダーに使用します。
XPS Printer language (XPSCONVERT)	XPS (山川9る场台に使用しま9。(※現仕はまに使用されません。)



画面 3

<mark>8]</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(<u>A</u>) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
Apply Mapping Format to spoole (MAPCPYSPLF)	
選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
XPS outfile	
Code Page <u>*SPL</u> *SPL, 037,1147 infile	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	続く
Mil c MW 英数 半角	05/037

XPS outfile (XPSOUTFILE) Code page (CP) XPS で出力する場合に使用します。(※現在はまだ使用されません。) コードページ: コードページの値を指定します。日本語環境では明示的な値の指定が必要で す。スプール・ファイルを作成したジョブの CCSID が 5026 の場合には 290、スプ

ール・ファイルを作成したジョブの CCSID が 5035 の場合には 1027 を指定してく

Infile (INFILE)

デフォルト値のままにしてください。

2. MAPSPLPDF コマンド

MAPSPLPDF コマンドを利用してスプール・ファイルから PDF ファイルを生成することができます。 ※このコマンドを使用するには、「PDFオプション」を購入していただく必要があります。

ださい。

<u>はじめに:</u> Mapping で PDF ファイルを作成するには、PDF 言語で生成された MapDraw フォーマットを作成する必要が あります。

作成方法は「5-2 PDF の生成について」を参照してください。

System i のコマンド行で「MAPSPLPDF」とタイプし F4 キーを押下します。



画面 1

<mark>3]</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アウション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) MAPSPLPDF(MAPSPLPDF) 選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
Spooled file	199
F12=取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き)5/037

コマンドを正しく実行するために、最初の5つの必須パラメーターを指定します。 これらのパラメーターはマッピングするスプール・ファイルをユニークに識別するために使用されます。

Secolar file		Nama
	_	Name
Spooled file number	<u>*LAST_</u>	*LAST *ONLY 00000-99999
Job Name	*CURRENT	Name, *CURRENT , *DEV
Job number		000000-999999
User	<u>*CURRENT</u>	Name

<u>Spooled file (SPLF)</u>
Spooled file number (SPLNUM)
Job Name (JOB)
Job number (JOBNUM)
<u>User (USER)</u>

スプール・ファイル名 スプール・ファイル番号 スプール・ジョブ名 スプール・ジョブ番号 スプール・ユーザー

次に、スプール・ファイルに適用されるフォーマット名とシーケンスを指定します。 MAPCPYSPLF コマンドとは異なり、「Sequence」パラメーターは明示的な番号(例えば 00010)か*MRG のみが有効です。 *ALL は機能しません。(*ALL は*MRG と同じ動作をします。)

Mapping format	Character value,10 max.
Sequence	*ALL *MRG 00000-99999

Mapping format (MAPNAM)
Sequence (MAPSEQ)

マッピング・フォーマット名 マッピング・フォーマット・シーケンス番号



残りの主な生成パラメーター:

Delete file (DELSPL)	スプール・ファイルの削除:
	「N」はコマンドの実行後に元のスプール・ファイルを削除しません。
	「Y」は削除します。
<u>Start/End page (PAGSTR/PAGEND)</u>	マッピング開始ページ/マッピング終了ページ:
	必要な場合は、マッピング開始ページと終了ページを指定できます。
Page width (RECLEN)	スプール・ファイルのページ幅:
	マッピング後のスプール・ファイルの桁数。主に AFP スプール・ファイルをマッピング
	する場合に使用されます。その他の場合は、デフォルト値のままにしてください。
Page length (OVRFLW)	スプール・ファイルのページ長:
	マッピング後のスプール・ファイルの行数。主に AFP スプール・ファイルをマッピング
	する場合に使用されます。その他の場合は、デフォルト値のままにしてください。
Name of this file (NAME)	作成する PDF ファイル名 :
	PDF ファイル名を指定してください。(拡張子を含みます。)
Path of the file (PATH)	作成する PDF ファイルが置かれる IFS ディレクトリーのフルパス名 :
	PDF ファイルの作成フォルダーを完全なパス名で指定します。(PDF ファイルは、
	System i の指定された IFS フォルダー上に作成されます。パス名の最後のスラッ
	シュ(/)を必ず入力してください。例:/home/Mapping/PDF/)

- ※ ファイル名、パス名には SBCS しか指定できません。DBCS を使用したい場合には MAPSPLPDF コマンドで PDF 作 成後に RNM コマンドを使用してオブジェクト名を変更してください。
- ※ パス名の最大長は 150 バイトです。

画面 2

8 <mark>1</mark> セッション C [24 x 80]		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルフ*(H)		
MAPSPLPDF (MAPSPLPDF)		
選択項目を入力して,実行キーを押してください。		
Path of the file >		
追加のバラメーター		
Code Page <u>*SPL</u> *SPL, 037,1147 Type of index file <u>'NONE'</u> CMOD Full path to index file		
	效力	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	かな ツ	
MB c MW 英数 半角	05/037	

Code page (CP)

コードページ:

コードページの値を指定します。日本語環境では明示的な値の指定が必要で す。スプール・ファイルを作成したジョブの CCSID が 5026 の場合には 290、スプ ール・ファイルを作成したジョブの CCSID が 5035 の場合には 1027 を指定してく ださい。


Type of index file (INDEX)

インデックス・ファイルの作成: 「NONE」はインデックス・ファイルを作成しません。 「CMOD」は IBM CM OnDemand 用インデックスを作成します。 作成するインデックス・ファイルが置かれる IFS ディレクトリーのフルパス名:

Full path to index file (INDEXFILE)

3. Mapping による対話型のスプール・ファイル処理

コマンド行で「GO MAPPING」と入力します。 オプション「1. スプール・ファイルの処理」を選びます。 以下のような画面が現れます。

<mark>8]</mark> セッション C [24 x 80]	
7ァイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
Work with Spoolfiles (Mapping (CUGISPLEUS)	
選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
User	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し	終り
F13- この画面の使用法 F24- キーの続き	
Mê c MW 英数 半角	05/037

以下を指定して、スプール・ファイルを絞り込み検索することができます。

- ユーザー名、*ALL または *CURRENT
- OUTQ
- スプール・ファイル名
- 用紙タイプ
- ユーザー・データ (USRDTA)

以下のような画面が現れます。



■ 【セッション G [27 x 132]	
7ァイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクシュン(A) ウィントウ(W) ヘルプ(H) MAPD006 スプール・ファイルの処理	MORINAGA CARME 10/09/28 17:51:22
選択項目を入力後、実行キーを押してください。 1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解放 7= メッセージ 8= 属性 9= ED刷状況の処理 M=MAPPING R= 再ED刷 D= 複製 P= PC への送信 V= USERASCII ファイルの表示 OPT ファイル ユーザー ジョブ 番号 7ァイル NO OUTQ STS ページ <mark>Ascii</mark> 日付 時間/	
QPQUPRFIL MAPPING QPADEV0003 205291 4 DEMOOUT HLD 1 3 198 04/09/09 09:50:04	LIDFATY *STD *STD *STD *STD *STD *STD 3SC *STD *STD *STD *STD
F1= ᠭᢧ?゜ F3= 終了___F4= プロンプト F5= 最新表示 F11= 詳細 F12= キャンセル F17= 最初 F18= 最後	終わり
_ F21FJY2F F22F EUMI装直 YAL c MU 英数 半角 08/002	

「スプール・ファイルの処理」画面での Mapping アクション

オプション **M=マッピング**

→ スプール・ファイルを対話型マッピングします。ここでは PCL で生成された Mapping フォーマットだけが使用出来ます。Mapping 機能の中には、例えばトレイの管理のように、対話モードでは使用できないものもあります。

オプション R=再印刷

→ スプール・ファイルを指定されたページから再印刷します。

オプション D=複製 (MAPDUPSPLF コマンド)

→ スプール・ファイルを別の OUTQ にコピーします。

オプション P=PC への転送 (MAPPAGIFS コマンド)

➡ 1 つのスプール・ファイルを IFS ヘコピーします。ファイルの拡張子は「.PAG」です。 このアクションは、MapDraw プロジェクトで使用されるサンプルのスプール・ファイルを作成する際に大変役立ちます。

オプション V=ASCII 表示 (MAPVIEWPCL コマンド)

→ MAPOUT 内の ASCII のスプール・ファイルをプレビューします。

以下のその他の操作は、この画面から実行できます。

オプション E=MAPECLAT コマンド

→ スプール・ファイルを複数の OUTQ 上に複製して、スプール・ファイルを分割します。この結果のスプール・ファイルは、 元のファイルと同数のページを持ちます。各スプール・ファイルの「開始ページ/終了ページ」属性のみが変化します。

オプション S=MAPSORTSPL コマンド

→ ファイルをソートし、その結果をデータベース・ファイルに入れるか、または新規のソート済みスプール・ファイルを生成します。

オプション T=TCP/IP 経由 (OS/400 コマンド SNDTCPSPLF)

→ System i 間でスプール・ファイルを送信します。

4. MAPIFS2PRT コマンド

MAPIFS2PRT コマンドを利用して IFS 上の PDF ファイルからスプール・ファイルを生成し、それを PDF ダイレクト印刷が可能な プリンターや、Mapping Virtual Printer (MVP) に送ることができます。

System i のコマンド行で「MAPIFS2PRT」とタイプし F4 キーを押下します。

画面	1

<mark>の[</mark> セッション C [24 x 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) IFS TO PRTF(MAPIFS2PRT)	
選択項目を入力して,実行キーを押してください。	
File to insert	
Spooled file Name Output queue *JOB Name Library *LIBL Name, *LIBL Release new spooled file Y Y, N Save new spooled file Y Y, N Form type *STD Name, *STD, *SPL Use PJL *NO Use PJL Input bin (TRAY) * *NO Printer job name (JOBNAME) 'Mapping Job'	
Quantity (QTY) 1,2,3, F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F10= 追加のバラメーター F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	続く
MB c MW 英数 半角	05/037

File to insert (FILE)

<u>Spooled file (SPLF)</u> <u>Output queue/Library (OUTQ)</u>
Release new spooled file (RDY)
Save new spooled file (SAV)
<u>Form type (FORMTYPE)</u> <u>Use PJL (USEPJL)</u>
<u>Input bin (TRAY)</u> <u>Output bin (OUTBIN)</u> Printer job name (JOBNAME) Quantity (QTY)

出力する PDF ファイルを完全なパス名で指定 (例:'/home/mapping/demo.pdf') PDF の元となるスプール・ファイル名 スプール・ファイルを出力する OUTQ 名とライブラリー名 (通常これはリモート OUTQ となります。) 出力したスプール・ファイルのステータス: 「Y」はマッピング後のスプール・ファイルを RDY にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを HLD にします。 作成したスプール・ファイルの出力後のステータス: 「Y」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを SAVE(*YES)にします。 「N」はマッピング後のスプール・ファイルを保存しません。 「#MS」は PJL コマンドをプリンターに送ります。



画面 2

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクシュン(A) ウィンドウ(W) ヘルブ(H) IFS TO PRTF (MAPIFS2PRT) 選択項目を入力して,実行キーを押してください。 Finisher (FINISH) MultiUpPagePrint (LMULTIPAGEPR MultiUpPageView (LMULTIPAGEVIE Use Duplex (DUPLEX)	
選択項目を入力して,実行キーを押してください。 Finisher (FINISH) MultiUpPagePrint (LMULTIPAGEPR MultiUpPageView (LMULTIPAGEVIE Use Duplex (DUPLEX) ON,OFF	
Finisher (FINISH)	
追加のバラメーター	
Insert this file before	
Insert this file after	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	終り
Mal c Mul 茁数 半角	05/037

<u>Finisher(FINISH) (PJLFINISH)</u> <u>MultiUpPagePrint(LMULTIPAGEPR (PJLMPPRINT)</u> <u>MultiUpPageView(LMULTIPAGEVIE (PJLMPVIEW)</u> <u>Use Duplex(DUPLEX) (PJLDUPLEX)</u> <u>Insert this file before (BEFORE)</u> 複数の PA

Insert this file after (AFTER)

複数の PJL コマンドを IFS 上のテキスト・ファイルに登録しておき、PDF のスプー ル・ファイルの前に PJL コマンドをプリンターへ送信することが出来ます。 複数の PJL コマンドを IFS 上のテキスト・ファイルに登録しておき、PDF のスプー ル・ファイルの後に PJL コマンドをプリンターへ送信することが出来ます。



補足

1. MAP400 のダウンロード方法

Mapping 社の Web サイトヘアクセスします。

URL: <u>http://server.mappingsuite.com/</u>



左側の「Connect」をクリックします。

ログイン画面が表示されますので、あらかじめ Mapping 社からメールで通知されたユーザー名とパスワードでログインします。



🦉 Server Mapping Suite - Windows Internet	Explorer	
😋 🕞 👻 http://server.mappingsuite.com/index.	php?module=menuselect&action=connect&menu_id=0c7d4f563c 💙 🗲 🗙 Google	₽ •
😰 🔹 ウェブを検索 🔎 🔹 🔶 🔹 📢	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
Google 8 -	🔽 検索 🖗 🌍 • 📲 🛛 😰 マックマーク - 🔍 検索 • 💖 チェック • 💡 🗄 翻訳 • 🎽	* 🔌 • 🔵 ログイン •
😭 🏟 🔤 Server Mapping Suite		i@ • @ ッール@ • »
		<u>~</u>
Connect	User Password OK Lost password ?	
2009-03-05 -	🕒 💽 ተጋջ–ネット	v 2.0

ログイン後の画面です。



左側の[Download]をクリックします。



🖉 Server Mapping Suite - Windows I	internet Explorer	
🚱 🗸 述 http://server.mappingsuite	com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281 e 💙 🗲 🗙 Google	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)	
● 「ワェブを検索… ♪ ● □ ● (● □ ● (● ■ ● (● ● □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		
		* • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
😭 🏘 👾 Server Mapping Suite		り • (@ ツール(©) •
MAPPING		
Home	Search : 4	
Products	Documentation	
Software keys	ApReport	
Ticket List	😂 MapGED	
Submit ticket	🖄 MapWeb	
Download	🖄 Mapout	
Partner	🖄 Mapdraw	
👷 My Account	CareleaseCandidate (風 releasecandidate: 編果ない)	
javascript:void@);	😜 ব০০৯–২৬৮	🔍 100% 🔻

[ReleaseCandidate]をクリックします



[Server]をクリックします。



🖉 Server Mapping Suite - Windows I	internet Explorer	
🚱 🕤 💌 http://server.mappingsuite.	com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e 🔽 🍫 🗙 Google	₽ -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(G 変) ◆ ウェブを検索… ♀ ∲ 🔤 ◆ ④	ב) ״–,νŒ ^,ν,⊅(±)) • ❤ • • • • • • • • • •	
Google 8-	🗸 検索 🔸 🧔 • 🚽 • 🔊 • 🏠 ブックマーク • 🖳 検索 • 💖 チェック • 🕃 翻訳 • 🌺 🍕	 ・ ・ ・
😭 🏟 👾 Server Mapping Suite		() ッール(<u>)</u> • *
Submit ticket	🗠 MapWeb	
Download	🖄 Mapout	
V Partner	🗠 Mapdraw	
0	🖄 ReleaseCandidate	
My Account	😂 MapReport	
Connect	🗠 МарWeb	=
Disconnect	😂 Mapout	
	🗠 Mapdraw	
Contact	😂 Server	
	😂 SUN	
	AIX	~
javascript:void(0);	😝 ብンターネット	🔍 100% 🔻 💡

[ISERIES]をクリックします。



[map400_6_0_1_18.zip]をクリックします。(ファイル名は異なっている場合があります)



ファイルのダウンロード画面が表示されます。[保存]ボタンを押してダウンロードを開始します。

ファイルの	ダウンロード 🔀
20771	(ルを開くか、または保存しますか?
	名前: map400_6_0_1_18.zip 種類: 圧縮 (zip 形式) フォルダ 発信元: server.mappingsuite.com 開(の) 保存(S) キャンセル
0	インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピュータに問題を 起こすものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保 存したりしないでください。 <u>危険性の説明</u>

ダウンロード後のファイルはZIP形式で圧縮されていますので、解凍してから使用してください。 解凍すると「map400.savf」になります。

2. MapDraw のダウンロード方法

Mapping 社の Web サイトヘアクセスします。 URL: <u>http://server.mappingsuite.com/</u>





左側の「Connect」をクリックします。

ログイン画面が表示されますので、あらかじめ Mapping 社からメールで通知されたユーザー名とパスワードでログインします。

🖉 Server Mapping Suite - Windows Internet Explorer			
🚱 🕤 💌 http://server.mappingsuite.com/index.php?module	nenuselect&action=connect&menu_id=Oc7d4f563d	ic 💙 🗲 🗙 Google	P -
🔊 🔹 ウェブを検索 🔎 🔹 🔶 💌 📢 💌 🔹 🔹	0 0 ·		
Google 8 → ∲‡	🧔 • 🕂 · 👰 • 🏠 ブックマーク・ 🔍 t	検索・ 🍄 チェック・ 🧖 額服・ 🌺	🗞 🔹 🔵 ログイン 🔹
😭 🏟 🔤 Server Mapping Suite		🚹 • 🗟 • 🖶 • 🔂 ぺージ(P)	• 🍈 ツール(<u>O</u>) • 🂙
			<u>^</u>
Connect	User Password OK Lost password ?	Register	æ
2009-03-05 -		🕒 🖉 २७४-२७१	v 2.0

ログイン後の画面です。





左側の[Download]をクリックします。

🖉 Server Mapping Suite - Windows I	nternet Explorer	
💽 🗸 述 http://server.mappingsuite.	com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e 💙 🛃 🛛 Google	P-
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(£) ୬−ル① ∧ルプ(H)) • ♥ • • • • • • • • • •	
Google 8-	 ・ 愛・ 小・ 怒・ ☆ ブックマーク・ 昼 検索・ 参 チェック・ gi 翻訳・ >> 	🔦 • 🔵 ログイン •
😭 🏟 👾 Server Mapping Suite	📩 • 🗟 • 🖶 • 🕑 • • • • •	?) • 🍈 ツール(<u>(</u>) • 🂙
MAPPING		<u>^</u>
Home	Search : Q	
Products	Documentation	
Software keys	🖄 MapReport	
Ticket List	🖄 MapGED	
Submit ticket	🖄 MapWeb	
Download	🖄 Mapout	
Partner	🖄 Mapdraw	
👷 My Account	ReleaseCandidate A releasecandidate: 結果ない	
javascript:void(0);		🔍 100% 🔻

[ReleaseCandidate]をクリックします。



🖉 Server Mapping Suite - Windows I	Internet Explorer	
🚱 🕤 👻 http://server.mappingsuite	.com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e1t 💌 🗲 🗙 Google	<u>- م</u>
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) y-n(I)	
		ペ マ 〇 ロガインマ
		(P) = (A) = (A) = *
Download	🗠 Mapout	
Martner	🖄 Mapdraw	
R My Account	Carl ReleaseCandidate Carl MapReport	
Connect	😋 МарWeb	
Disconnect	😂 Mapout	
	😂 Mapdraw	
Contact	🖄 Server 🔍 mapdraw: (結果なし)	
	😂 Server	
	changelog_cdrom.txt 1423 2007-10-30	1
	english_changelog_cdrom.txt 1423 2007-10-30	
2009-03-18 -		v 2.0
javascript:void(0);	🛛 🕹 ብンターネット	🔍 100% 🔻 💡

[Mapdraw]をクリックします。

🦉 Server Mapping Suite - Windows)	Internet Explorer				
🕥 🕞 👻 http://server.mappingsuite	.com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e1t 💌 🔤	😽 🗙 Google		<u>-</u> م]
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り((2) ・ ウェブを検索		fruh aismep.	.)» @		
		7 a Bran	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		»
😭 🎶 🖭 Server Mapping Suite			י ער-୬(P) די @	'')−µ©) •	
Download	🖄 Mapout				
Partner	🕾 Mapdraw				
My Account	ReleaseCandidate ManReport				
Connect	🖆 MapWeb				1
Disconnect	🖄 Mapout				
Contact	😂 Fonts				
	english_changelog_mapdraw.txt	26693	2009-02-04		
	👔 MapDraw_setup_6.10.0.16.exe	24081905	2009-02-04		
	📄 changelog_mapdraw.txt 🛛 🔍 ex 前卖前夫	31922	2009-02-04		٩
	👔 Setup.exe	49152	2009-02-04		
	😂 Server				
http://server.mappingsuite.com/index.php?modu	ule=telechargement&action=get&type=customer&file=Releas	😜 インターネット		🔍 100% 🔻	.:

[MapDraw_setup_6.10.0.16.exe]をクリックします。(ファイル名は異なっている場合があります)



ファイルのダウンロード画面が表示されます。[保存]ボタンを押してダウンロードを開始します。

ファイルの	ジンロード - セキュリティの警告	×
20771	ルを実行または保存しますか?	
	名前: MapDraw_setup_6.10.0.16.exe 種類: アプリケーション 発信元: server.mappingsuite.com 実行(B) 保存(S) キャンセル	
۲	インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピュータに問題 を起こす可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウェアを実 行したり保存したりしないでください。 <u>危険性の説明</u>	

ダウンロード完了後、WindowsPC上で、このプログラムを実行すると、「MapDraw」のインストールが開始されます。

3. バーコード・フォントのダウンロード方法

Mapping 社の Web サイトヘアクセスします。 URL: <u>http://server.mappingsuite.com/</u>





左側の「Connect」をクリックします。

ログイン画面が表示されますので、あらかじめ Mapping 社からメールで通知されたユーザー名とパスワードでログインします。



ログイン後の画面です。



左側の[Download]をクリックします。



🖉 Server Mapping Suite - Windows Internet Explorer	
🚱 🕤 💌 http://server.mappingsuite.com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e 🔽 🚱 🗙 Google	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)	
	• 1,01,0 •
Server Mapping Suite)−µ©) •
	<u>^</u>
MAPP(NG	
Home Search : Q	
Documentation	
Software love	
Johnwaie Keys	
Ticket List	
Submit ticket	
🗠 Mapout	
Download	
🖄 Mapdraw	
Partner	
C Ily Account C ReleaseCandidate (Q releasecandidate: 結果ない)	
javascriptvoid(0);	100% -

[ReleaseCandidate]をクリックします。

🖉 Server Mapping Suite - Windows I	nternet Explorer			
🚱 🗸 🖮 http://server.mappingsuite.	com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&menu_id=6281e1t 🗙	🗲 🗙 Go	oogle	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(9) y-H(I) VH1(H)			
🦉 🔹 ウェブを検索 🔎 🔹 🔶 🔛 🔹 🥃		ABC T L		O BRA
Google 8 -		✓ +199 • 5		• 0010•
Server Mapping Suite				♪ ツール(<u>0</u>) ▼
Download	🖄 Mapout			
Martner	🖄 Mapdraw			
	🖄 ReleaseCandidate			
Mv Account	🔄 MapReport			
Connect	😂 МарWeb			
Disconnect	🖄 Mapout			
	🖄 Mapdraw			
Contact	🖄 Server 🔍 mapdraw: (結果なし)			
	🖄 Server			
	hangelog_cdrom.txt	1423	2007-10-30	
	english_changelog_cdrom.txt	1423	2007-10-30	
2009-03-18 -				v 2.0
javascript:void(0);		🔰 🚷 インき	ターネット	🔍 100% 🔹 💡

[Mapdraw]をクリックします。



🦉 Server Mapping Suite - Windows I	nternet Explorer		
🚱 🗸 述 http://server.mappingsuite.	com/index.php?module=menuselect&action=telechargement&m	nenu_id=6281e1t 🕶 🐓 🗙 Google	- ٩
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A 変) ・ ウェブを検索 タ・ 🔶 📰 ・ 🍕	Ð ツ−ル① ヘルプ(H) ● ▾ 📢 ▾ 🐂 ▾ 😱 🕢 ▾		
Google 8 -	✓ 検索 🔸 🗇 + 🔂 + 🏠 ブックマー:	り・ 🔍 検索・ 🍄 チェック・ 🤋 🖁 翻訳・ ≫	🔦 🔹 🔵 ログイン 🔹
😭 🖨 👾 Server Mapping Suite		🟠 • 🔊 • 🖶 • 🔂 *	ジ(P) • 🎯 ツール(Q) • 🎽
Disconnect	🖄 Mapdraw		
Contact	😂 Fonts		
	🖄 other		
	BC25SL.ttf	3288 2009-02-04	
	BC39L.ttf	7588 2009-02-04	
	BCJapanPostal.ttf	2964 2009-02-04	
	BC25EL.ttf	25332 2009-02-04	
	BCEanL.ttf	8324 2009-02-04	
	BC25E.ttf	10000 2009-02-04	
	BCPostNet.ttf	2720 2009-02-04	
	BCUSPostal.ttf	1344 2009-02-04	
	BC128.TTF	11544 2009-02-04	
	BC25S.ttf	2504 2009-02-04	
	BCCodabarL.ttf	15788 2009-02-04	
	BCCodabar.ttf	13400 2009-02-04	~
javascript:void(0);		😜 インターネット	🔍 100% 👻

[Fonts]をクリックします。バーコード・フォントの一覧が表示されます。それぞれのフォントをクリックしてダウンロードしてください。

例として「BCJapanPostal.ttf」をダウンロードします。

🖉 Server Mapping Suite - Windows I	nternet Explorer		
🚱 🕤 👻 http://server.mappingsuite.	com/index.php?module=menuselect&action=telechargeme	nt&menu_id=6281e1L 💌 😽 🗙 Google	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(も ふーかひ マンちょう		
🔊 🔹 ウェブを検索 🔎 🔹 🔶			
Google 8 -	▶ 検索 🖤 🌍 • 👘 • 😰 • 😭 • 😭 ブッ!	マーク・ 🧟 検索・ 🌍 チェック・ 🧝 翻訳・ "	🔍 • 🔘 ログイン •
🚖 🏟 🔤 Server Mapping Suite		🟠 🔹 📾 👻 🖶 🖈 🔂	-9@ • ۞ ν-ル@ • »
Disconnect			<u> </u>
	🖄 Mapdraw		
Contact	😂 Fonts		
	🖨 other		
	BC25SL.ttf	3288 2009-02-04	
	BC39L.ttf	7588 2009-02-04	
	BCJapanPostal.ttf	2964 2009-02-04	
	BC25EL.ttf	25332 2009-02-04	
	BCEanL.ttf	8324 2009-02-04	
	BC25E.ttf	10000 2009-02-04	
	BCPostNet ttf	2720 2009-02-04	
		1244 2000 02 04	
	BCOSPOSIALLI	1544 2009-02-04	
	BC128.TTF	11544 2009-02-04	
	BC25S.ttf	2504 2009-02-04	
	BCCodabarL.ttf	15788 2009-02-04	
	BCCodabar.ttf	13400 2009-02-04	~
http://server.mappingsuite.com/index.php?modu	le=telechargement&action=get&type=customer&file=Rele	as 😜 インターネット	€ 100% ·



[BCJapanPostal.ttf]をクリックします。

ファイルのダウンロード画面が表示されます。[保存]ボタンを押してダウンロードを開始します。

77110	ダウンロード 🔀
2077	(ルを開くか、または保存しますか?
	名前: BCJapanPostal.ttf 種類: TrueType フォント ファイル, 2.89 KB 発信元: server.mappingsuite.com
	開(Q) (保存(S) キャンセル
0	インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピュータに問題を 起こすものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保 存したりしないでください。 <u>危険性の説明</u>

ダウンロード完了後、Windows にフォントをインストールする必要があります。 以下の手順でインストールしてください。

Windows のスタート・メニューから[コントロールパネル]を選択してください。



[フォント]をクリックします。

フォントリストが表示されます。



🖾 フォント							
ファイル(<u>F</u>) 編	[集(E) 表示(⊻) お気に入り(<u>(A) ツール(T)</u>	ヘルプ(円)			<u> </u>
🔇 戻る 🔹	🕤 - 🍺	🔎 検索 🧗	う フォルダ [• • • • •			
アドレス(D) 🔂	フォント					💌 🄁 🕈	多動
<u>Arial</u> (TrueType)	<u>Arial Black</u> (TrueType)	<u>Arial Bold</u> (TrueType)	<u>Arial Bold</u> <u>Italic (Tru</u>	<u>Arial Italic</u> (TrueType)	<u>Arial Narrow</u> (TrueType)	<u>Arial Narrow</u> <u>Bold (True</u>	^
Ŧ	Ŧ	0	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	
<u>Arial Narrow</u> Bold Italic	<u>Arial Narrow</u> Italic (True	<u>Arial Unicode</u> <u>MS (TrueTy</u>	<u>Baskerville</u> (TrueType)	<u>Baskerville</u> Bold (Tru	<u>Baskerville</u> Bold Itali	<u>Baskerville</u> Italic (Tru	
Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	
<u>Batang &</u> <u>BatangChe</u>	<u>BC128</u> (TrueType)	<u>BC128A</u> (TrueType)	<u>BC128N</u> (TrueType)	<u>BC25E</u> (TrueType)	<u>BC25EL</u> (TrueType)	<u>BC25S</u> (TrueType)	
Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	
<u>BC25SL</u> (TrueType)	<u>BC39</u> (TrueType)	<u>BC39L</u> (TrueType)	<u>BCCodabar</u> (TrueType)	<u>BCCodabarL</u> (TrueType)	<u>BCEan</u> (TrueType)	<u>BCEanL</u> (TrueType)	
Ter	Tr	Ter	The	0	0	0	~



[ファイル]メニューから[新しいフォントのインストール]を選択する。

フォントの追加画面が表示される。



■ フォントの追加		X
フォントの一覧(E): フォントが見つかりません。		OK 閉じる すべて選択(<u>S</u>)
フォルダ(D): c:¥windows C:¥ MINDOWS 2E21CBDA1EDF4C18 addins AppPatch Cassembly	ドライブ(い): ■ c: Preload ▼ フォント フォルダにフォントをコピー	ネットワーク する(<u>C</u>)
■ フォントの追加		

「フォントの追加		
フォントの一覧(<u>F</u>): BCJapanPostal (TrueType)		OK 閉じる すべて選択(<u>S</u>)
フォルダ(<u>D</u>): c:¥temp	ドライブ (2):	
C∺¥ Memp	■ c: Preload ✓ フォント フォルダにフォントをコピーす	ネットワーク る(<u>C</u>)

ダウンロードしたフォントが格納されている、「ドライブ」と「フォルダー」を指定します。(ここでは、C ドライブの temp フォルダーを指定しています。)

フォント一覧にダウンロードしたフォントがリストアップされます。 確認後、「OK」ボタンを押します。 これで、フォントがインストールされました。